

# HANDBOOK 留学ハンドブック for STUDY ABROAD

Tama Art University  
International Exchange Center

2025





# HANDBOOK 留学ハンドブック for STUDY ABROAD Tama Art University International Exchange Center 2025

## 留学って、なんだろう？

4 留学って、私にもできますか？

## 留学って、どうすればできるの？

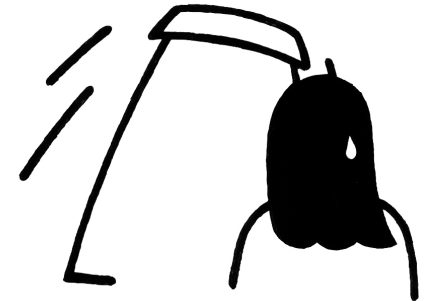
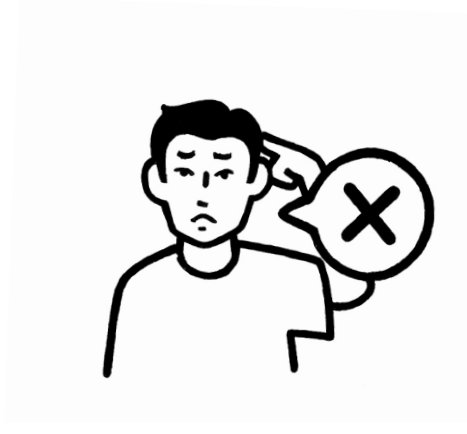
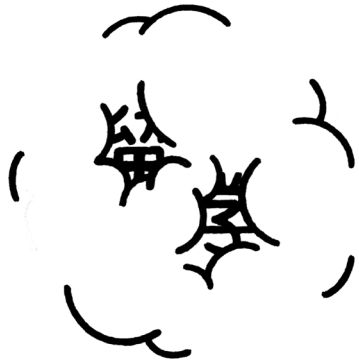
- 10 留学制度の種類
- 12 交換留学
- 18 ダブルディグリー
- 20 Pacific Rim
- 24 多摩美 TRY
- 28 留学実現のための5ステップ
- 30 留学実現のためのポートフォリオ制作
- 34 留学実現のための語学力UP in 多摩美
- 36 留学実現のための実践力UP
- 38 様々な留学① 私費留学
- 40 様々な留学② 海外大学院進学
- 42 様々な留学③ アーティスト・イン・レジデンス
- 44 様々な留学④ ワーキングホリデー
- 46 コラム『あの頃をふりかえって...』

## 国際交流センターって、どんなところ？

- 50 国際交流センター
- 52 語学サポート・イベント
- 54 対談 MANIWA's ROOM
  
- 58 渡航に向けての準備
- 59 安全対策リンク集・奨学金情報
- 60 留学FAQ



# 留学って、私にもできますか？



**Q** 留学って、あまりピンとこないのですが…？

**A** 加藤理子 芸術学科 卒業  
私費留学：ブラット・インスティテュート

将来の夢を実現するために、日本国内では探せない学びの機会を見つけられるのが留学の意義だと思っています。もちろん留学意義は大学の授業だけではありません。海外に行くと「本気で心を動かされる瞬間」に出会うことができます。これは自分の表現の幅を広げるためには大切な経験だと思います。また、海外に出ることで、逆に日本の魅力を再確認することもできます。夢を実現するために自分に足りないものを考えて、それが海外で手に入るなら、迷わず留学という選択肢を選んでください。得るものが必ずたくさんあるはずですよ！

**Q** 留学の手続きって、大変そうじゃないですか？

**A** 三井悠華 芸術画専攻 卒業  
大学院進学：国立台湾芸術大学

留学を実現するためには、成績証明書や語学テストのスコアに加え、教員の推薦書、ポートフォリオなどの提出が求められます。さらに出願後は、学生ビザの申請などもあります。これらをすべてひとりで……と思う気が遠くなりますが、国際交流センターで相談しながら、着実にステップを踏んでいけば、必ずクリアできます。留学が気になるなら、早めに国際交流センターへ！

**Q** 英語に自信がないんですけど、大丈夫ですか？

**A** 鍋島柚葉 油画専攻 卒業

多摩美では、目的や語学力に応じて英語のカリキュラムを選択することができるので、授業で着実に力をつけていくことができると思います。

しかし、私の場合は、もう少し自分に合ったやり方で英語を学びたくて、国際交流センターでコーチングを受けていました。コーチングを利用することで英語の苦手意識がなくなりました。職員さんに自分の希望に応じた学習プランを立ててもらったり、指導してもらっていたので、ひとりでも勉強に向き合うことができました。

**Q** 留学はちょっと、ハードルが高い気がします。

**A** 摩庭啓人 国際交流センター

留学に興味があるけれど、心配事や不安があって諦めてしまっているという人も多いと思います。そんな学生の皆さんは、まずは気軽に国際交流センターへ相談しに来てください。一人ひとりに合った留学先や留学プログラムと一緒に考えるところから、利用できる奨学金制度の紹介、語学力の向上まで学生の目線に立ってサポートします。職員が英語・中国語・韓国語を教えるコーチングでは基礎から語学を学ぶことも可能です。また、留学先の国や留学の目的がはっきりしていなくてもOKです。「なぜ留学に行きたいのか」というところから掘り下げていきましょう。国際交流センターはオープンな雰囲気でも出入りできます。ぜひこの環境を活用してください！

**Q** 留学中の食生活って  
どんな感じなのでしょう...？

**A** 南雲未希 日本画専攻 卒業  
交換留学：国立台北芸術大学

台湾の食文化に対応するのは決して難しくありませんでした。甘めの味付け、ニンニクや八角が効いていたり、若干油っぽかったりと日本の食べ物とは違う台湾独特の特徴がありました。毎食美味しくいただきました。台湾の大学はビュッフェ式量り売りの学食が主流のようで、留学先の大学にもこの学食がありました。肉、魚、野菜の様々な種類のおかずを好みの量とれ、その場で友達と一緒に食べることも、お弁当箱に詰めてアリエヤや宿舎でも食べることもできるので、とても便利でよく利用していました。台湾は「素食」というベジタリアン料理が普及していて専門のお店があるなど食の多様性を感じる機会が多かったのですが、学食においてもベジタリアン専用のレーンが設けられており、多くの学生が食事を楽しめるよう配慮されていて非常に感心しました。

台湾の食べ物で困ることはほぼありませんでしたが、基本的にどの料理も加熱調理され、しっかりと味付けされたものが多く、あっさり、さっぱりしたものを食べなくなり、日本食が恋しくなる時がありました。そんな時は日本の飲食チェーン店に行って食事をしました。日本で食べるよりも少し値は張りますが、店舗数が多く身近に日本食が食べられるので助かりました。



台湾での食事

**Q** 住む場所を探したり、実際に海外  
に住むのって大変ですか？

**A** 松澤薫 油画専攻 卒業  
交換留学：ベルリン芸術大学

私は大学付近にある交換留学生専用の寮に住んでいました。大学ではドイツ語が基本ですが、寮はいろんな国からの交換留学生が集まっているので英語が基本でした。私が来た時は、出て行く人と時期が重なることもあり、Wi-Fi やドライヤーを 10 ユーロほどで売ってくれました。寮で仲良くなった人たちと定期的に一緒に夕食を作り、みんなでディナーを楽しみました。私の誕生日もみんなが祝ってくれました。家が同じようなものなので、夜遅くに一緒にクラブに行ったりもしました。帰国する頃には、英会話力が前よりずっと上達していました。



ベルリンの大学寮

**A** 岩渕晴香 油画専攻 卒業  
交換留学：国立高等装飾美術学校

住居探しについては、私は住居検索のサイトを利用しました。そこで見つけた日本人が幸運にも多摩美のOBで、さらにその方から直接ホームステイ先を紹介してもらったので、そこまで苦労はしませんでした。しかし、サイトをよく見て自分で連絡先を見つけ、コンタクトを取りつけるなど普段であればしないような少し大胆な行動をとったのも事実です。よく情報を見ながらがむしやらに動いてみるのも一つの手だと思います。実際に住んでみると言葉が通じないことは大変でしたが、その分現地文化や言語を学ぶ意欲が他の留学生より格段に上がっていたと思います。

**Q** 外国で友達を作れるのか、  
とても心配です。

**A** 村岡莉帆 テキスタイルデザイン専攻 卒業  
交換留学：オスロ国立芸術大学

留学先では知り合いがいない中、一人で現地のクラスに参加するので、自分から進んで周りコミュニケーションを取ろうとする姿勢を見せることが友達作りの鍵になると思います。

最初はわからないことも多く、クラスメイトに助けてもらうことも多くあります。その際に一方的に助けてもらうだけではなく、きちんとお礼を言ったり可能な限り周りの人と協力しようとするので相手との接点が増え、人となりを知ってもらうチャンスが生まれます。また、少しでも留学先の文化や言語を学び、受け入れる努力をすることでその国への敬意を示すと、現地の人もより友好的に接してくれます。会話の中でも相手との共通点や自分が興味を持っていることなどを積極的に話すことで話題を広げ、楽しみながら人間関係を構築していくのがおすすめです。留学中に築いた人脈に救われることが日本に帰国した今でも多々あるので、どんな些細なきっかけも逃さずに大切にしてください。

自分がたくさんの人に支えられて暮らしていることを忘れず、常に感謝の気持ちを持って行動していればその気持ちが相手に伝わり、友達も自然とできていくはずですよ。



同じスタジオのメンバーたち

**Q** 留学先での授業以外に、  
どんなことができますか？

**A** コウリンカク プロダクトデザイン専攻 卒業  
交換留学：アアルト大学

私が交換留学をしたアアルト大学は、とても自由な雰囲気です。授業も休日も自分でスケジュールを立てることができます。フィンランドは自然に囲まれている所で、お休みの日によく公園で散歩したり、釣りをしたり、自然を感じながらのんびり過ごしました。私は美術館や博物館が大好きで、フィンランドには美術館の年間パスポート (museokortti) があり、68 ユーロで全国の美術館や博物館で使用でき、とてもおすすめです！週末に都心の美術館を訪れる途中に市内観光もでき、他の都市で気になる美術館や展覧会があれば、その町への旅行のきっかけとなります。

また、様々な風景を見て体験することが大事だと思ったので、留学中に 12 カ国へ旅行に行きました。友達と一緒に旅行することもあれば、時々一人旅も楽しみました。一人旅は自分のことだけに集中でき、何も気にせずに好きな所に行ったり、単純に好きな作品を味わったりして本当に幸せな時間でした。旅行中に出会った人や見た風景は、自分の世界観に影響し、今までの人生の中で貴重な経験となりました。



留学先で見たオーロラ



# 留学制度の種類

一口に「留学」と言ってもさまざまな種類があります。  
それぞれの方法のメリット、デメリット、留学可能な大学などをチェックして自分に合った留学方法を見つけましょう。

	交換留学	ダブルディグリー	Pacific Rim	多摩美 TRY
留学先	海外協定校	シラパコーン	アートセンター・ カレッジ・オブ・デザイン または多摩美	メルボルン Insight English Academy  ホノルル ハワイ大学マノア校
応募枠	募集要項を参照 (各校につき1~2名)	最大2名	10名	メルボルン 20名 ホノルル 10~20名
言語	英語もしくは現地語	英語	英語	メルボルン 英語  ホノルル 英語
語学力	1次選考 (多摩美学内選考) TOEIC 520点以上 TOEFL - iBT 41点以上 IELTS - Academic 4.0以上  2次選考 (協定校による選考) 協定校によって 求められるスコアは異なる	IELTS-Academic 4.5以上 TOEFL iBT 41点以上 TOEIC 520点以上 DUOLINGO 80以上	TOEIC 400点以上 TOEFL - iBT 41点以上 IELTS - Academic 4.0以上 英検2級以上 CASEC 500点以上	メルボルン なし  ホノルル なし
留学期間	1学期 (協定校によって異なり 3~6ヶ月間)	学位取得のため2.5年 現地には約1年滞在	1学期	メルボルン 2週間  ホノルル 2 or 3週間
対象学年 (渡航時期)	学部3年後期 修士1年後期  研究室の許可があれば 学部4年・修士2年も可	修士1年後期	学部2・3・4年後期 修士1・2年後期 (学科によって異なる)	メルボルン 学部1・2・3年後期  ホノルル 学部1・2・3年後期

※本学の制度を利用せず、私費留学をすることも可能です。私費留学では、渡航先や学校は自由に選べますが、手続きは自己責任で行う必要があります。また、長期留学の場合、休学が必要となる場合があります。

	交換留学	ダブルディグリー	Pacific Rim	多摩美 TRY
募集要項 公開時期	渡航前年度の 6~7月	渡航前年度の 2~3月	実施年度の 3~4月	メルボルン 7月  ホノルル 7月
応募期間	渡航前年度の 10~12月	渡航年度の4月	実施年度の5月	メルボルン 実施年度の9月  ホノルル 実施年度の9月
GPA	2.3以上	特に定めなし	特に定めなし (ただし成績が良好な者)	メルボルン 2.3以上(1年生は不問)  ホノルル 2.3以上(1年生は不問)
学費	多摩美の学費のみ (協定校の学費を払う必要なし)	多摩美の学費のみ (協定校の学費を払う必要なし)  3年目の多摩美の 学費0.5年分が助成される	多摩美の学費のみ (協定校の学費を払う必要なし)	多摩美の学費 + 現地校の学費  メルボルン 40万円  ホノルル 65~75万円
奨学金	多摩美から 交換留学生奨学金 支給(20万円)	外部奨学金の可能性あり	外部奨学金の可能性あり	メルボルン 多摩美から支給(10万円)  ホノルル 外部奨学金の可能性あり
卒業時の 教員免許 取得	不可	不可	1学期	可
卒業時の 学芸員免許 取得	難しい	難しい	難しい	可

※制度内容は見直される可能性があります。正確な情報については募集要項を参考にしてください。

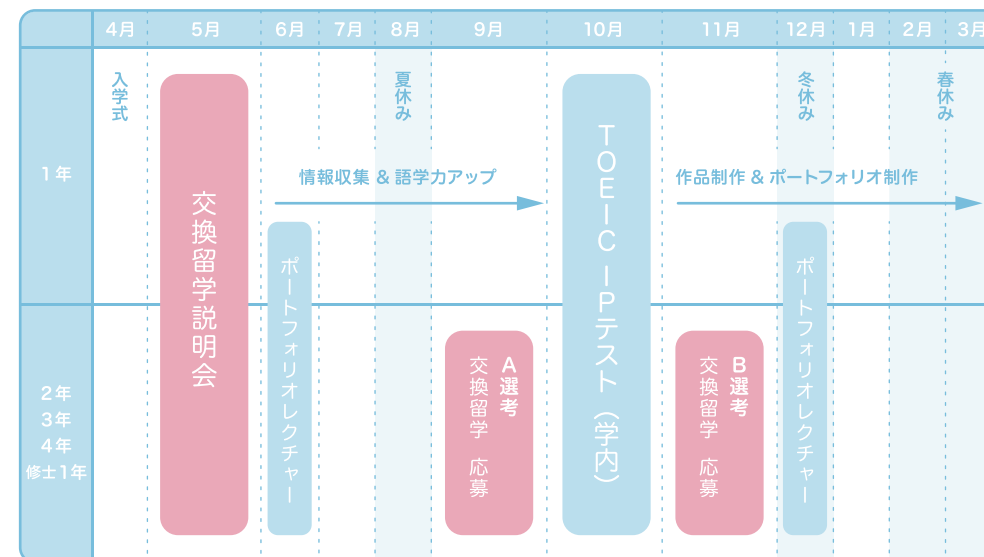


# 交換留学

交換留学制度とは、多摩美術大学と交換留学協定を結んでいる海外大学との間で約半年間、学生を相互に派遣・受入する国際交流プログラムです。本制度を利用した学生は、将来的にグローバルかつクリエイティブな人材として活躍することが期待されています。

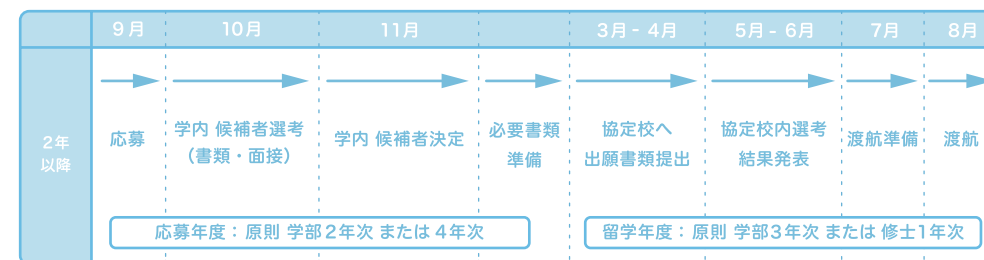
また留学中は、本学に授業料を納めることで、協定校（留学先）の授業料は免除されます。さらに派遣先大学における学習成果物に基づき、本学が適当と認めた科目（原則として所属学科・専攻・コースの進級必要要件科目）の単位が認定されます。このように交換留学制度では、留年することなく留学を実現することができます。交換留学の選考試験は甘くはありません。少しでも興味がある学生は、早めに国際交流センター職員に相談をしましょう。

## 入学から応募までの準備

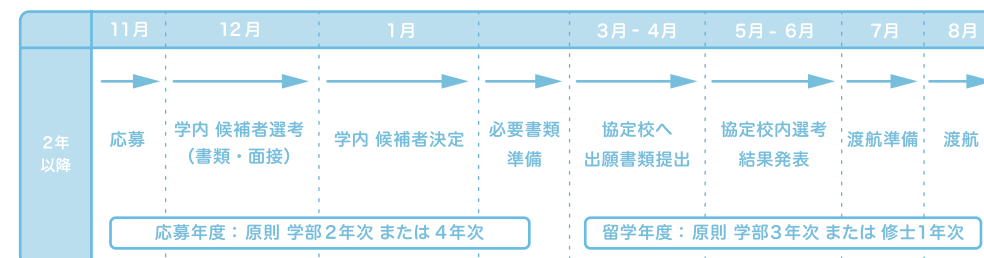


## 応募から交換留学までの流れ

### A選考 (特定の学科・専攻・コースに開かれた選考)



### B選考 (より多くの学科・専攻・コースに開かれた選考)





## 交換留学対象学科・専攻・コース

B: 派遣時に学部3年生 M: 派遣時に博士前期(修士)課程1年生\*

募集	協定校		推薦人数 (合計38名)	留学期間*2 (1学期)	日本画	油画	版画		彫刻	工芸	グラフィック	プロダクト	テキスタイル	環境・建築	情報 (×芸・情テ)	芸術*1	統合	演劇舞踊 (演舞・劇美)	
A 選 考	ベルリン芸術大学	ドイツ	各1名(計4名)	10月～翌2月								BM		BM*3	BM 各コース1名				
	オスロ国立芸術大学	ノルウェー	1名	8月～12月									BM						
	ヨーテボリ大学	スウェーデン	1名	9月～翌1月								BM*4							
	チェルシー・カレッジ・オブ・アーツ	イギリス	PD 1名 TD 2名	9月～12月								B	B						
	グラスゴー美術学校	イギリス	2名	9月～翌1月										B					
	ナショナル・インスティテュート オブ・デザイン	インド	2名	12月～翌4月										BM					
	シンシナティ大学	アメリカ	1名	8月～12月									BM						
B 選 考	シラバコン大学	タイ	2名	11月～翌4月	BM	BM	BM		BM										
	弘益大学校	韓国	2名	8月～12月	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	
	ソウル大学校	韓国	1名	9月～12月	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	
	中央美術学院*5	中国	2名	9月～翌1月	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		BM		
	国立台北芸術大学*6	台湾	1名	9月～翌1月	BM	BM	BM		BM		BM			BM	BM	BM	BM	BM	
	国立台湾芸術大学	台湾	1名	9月～翌2月	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM
	ヘリット・リトフェルト・アカデミー	オランダ	2名	9月～12月	B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	B	B		
	ベルリン芸術大学	ドイツ	2名	10月～翌2月	BM	BM	BM		BM										
	国立高等装飾美術学校	フランス	2名	10月～翌1月	BM	BM	BM		BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	
	アアルト大学*7	フィンランド	2名	8月～12月	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	
	オスロ国立芸術大学	ノルウェー	1名	8月～12月									BM	BM					
	ヨーテボリ大学*7*9	スウェーデン	1名	9月～翌1月					B	B				B	B		B	B	
	ローザンヌ美術大学	スイス	2名	9月～翌1月			B		B		B	B	B	B	B		B		
	ウィーン応用美術大学	オーストリア	2名	10月～翌1月			BM		BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM*8
	シンシナティ大学	アメリカ	1名	8月～12月	BM	BM	BM		BM	BM	BM			BM	BM	BM	BM	BM	

\*"B"が記載されている協定校へ学部4年次に留学を希望する者、あるいは"M"が記載されている協定校へ修士2年次に留学を希望する者は、卒業・修了制作時期と留学時期が重なることについて、研究室および担当教員に相談し、許可を得ることができれば応募可能。

\*1. 芸術学科の学生派遣については、作品制作を行っている学生が主な派遣対象となる(理論系プログラムへの応募の場合は、制作活動をしていなくても良い)。

\*2. 派遣時期については、変更となる可能性がある。

\*3. 建築専攻の学生のみ派遣対象とする。

\*4. 修士課程については、Child Culture Designプログラムのみ応募可とする。

\*5. 派遣先学科は「建築、設計、実験芸術、版画、油画、壁画、彫刻」のいずれかであり、特に高い中国語能力が求められる。

\*6. Department of Theatrical Design and TechnologyおよびDepartment of Theatreに応募する場合は、特に高い中国語能力が求められる。

\*7. 派遣先学科に各制限があるため、最新の募集要項(例年6-7月公開)を必ず確認すること。

\*8. 演劇舞踊デザイン学科の派遣対象は、劇場美術デザインコースの学生のみとする。

\*9. アトリエにスペースがある場合のみ、本学学生の受入を実施している。これまで、本学の学生は高い確率で受入を拒否されている。特例的に時期を変更して学生派遣を実施したこともあるが、今後も同様の対応ができるとは限らない。

内容は変更になる可能性があります。毎年6～7月に国際交流センターのWebページで公開される最新の募集要項を必ず確認してください。

# 交換留学 体験記

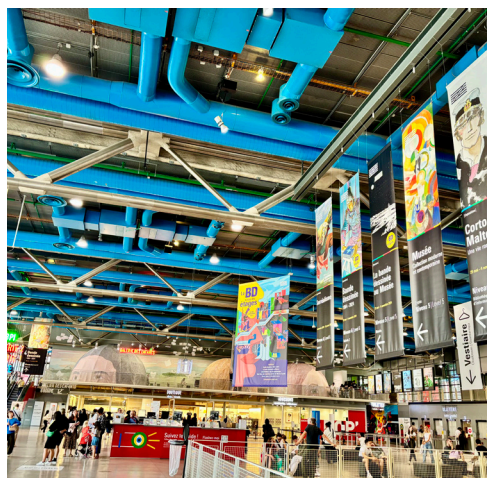
よく耳にする「交換留学」。でも、実際どんなものなのかはよくわからない…。交換留学を経験した3人の先輩の体験記を読みましょう。



## トウ テンロ

グラフィックデザイン学科  
交換留学：国立高等装飾美術学校

留学は自分自身と向き合い、  
深く知り、成長できる貴重な時間。



Centre Pompidou



大学内の写真

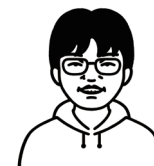
私はフランスの映像文化、特に短編アニメーションに強い関心を抱き、その研究を深めるために、国立高等装飾美術学校 (ENSAD) への交換留学を志望しました。3年生が始まるまでの春休みを利用してフランス語の勉強を始め、3年生になってからは多摩美でフランス語の授業も履修しました。しかし、フランス語は英語や日本語より習得が大変難しく感じ、それでも身についたのは本当に基礎的なレベルでした。実際フランスに来てからは言語の壁に苦労しました。幸い、アニメーション専攻の先生や学生たちは英語でコミュニケーションをとることができ、私自身ある程度の英語力があつたおかげで、授業はなんとか順調に進めることができました。最初はアニメーションを学ぶことを目的に留学を志望しましたが、フランスに来てからさまざまな展示会を

巡り、大学では純粋に絵画 (Peinture) の授業を選択することができました。日本のデザイン学科にいる自分とは全く異なる環境で学ぶ中で、自分がファインアートに対して強い興味と熱意を持っていることに気づくことができました。

留学は、言葉や文化を学ぶだけでなく、自分自身と向き合い、深く知り、成長させる貴重な機会です。迷いや不安、環境に慣れないことで苦労や不安もあるかもしれませんが、それ以上に得られるものは多いと実感しました。思い切って挑戦することで、きっと人生にとってかけがえのない経験になるはずです。

## 広田 侑希

統合デザイン学科  
交換留学：シンシナティ大学



まずは国際交流センターへGO！  
留学への興味をクリアにしよう！

もともとUI/UXの分野に興味があり、その分野では異なる価値観や文化を持つ人々に触れることが重要だと考え、留学を志しました。特にシンシナティ大学は、多様な学部を持つ総合大学であり、さまざまな刺激を受けられると思い志願しました。

英語学習に関しては、留学前にYouTubeで手当たり次第に英語の動画を観るなど、自分なりに取り組みました。留学中は、完璧に話そうとする意識を捨て、とにかく思いついたことを口に出すよう心がけていました。授業ではチームでのプレゼンテーションの機会が多く、自分の考えをまとめ、わかりやすく伝える訓練になったと思います。

留学を志す際、英語力や準備の大変さを理由に諦めてしまうケースもあるようですが、そこは一旦気にしないで大丈夫です。留学先での出会いや経験は、必ず人生の大きな糧になります。まずは国際交流センターへGO！ふわっとした留学への興味が、次第にクリアになっていくはずです。



大学の授業風景

## リ セイシュン

テキスタイルデザイン領域  
交換留学：ベルリン芸術大学



交換留学を通して芸術への  
思考力と観察力が向上した。



街の様子

私は、ベルリン芸術大学を第一志望の交換留学先に選びました。彫刻やインスタレーション、パフォーマンスを通じて、動物の特性と人間のジェンダーロールの関係を探求し、新たな芸術的価値の創出に挑戦したいと考えたからです。

語学学習では、毎日英語試験の勉強に励み、オンライン模擬試験を活用してリスニングや読解を強化しました。また、多摩美術大学に来ている交換留学生と交流し、英会話力を高めるとともに、ヨーロッパの住環境やベルリン芸術大学のコースについての情報を得ることもできました。留学経験者の話を聞くことで、具体的な準備を進められたのも大きな収穫でした。

交換留学を通じて、芸術に対する思考力と観察力が飛躍的に向上したと実感しています。修了制作では、この経験を活かし、創造力と論理的思考力を発揮して、留学で培った学びを作品に凝縮したいと考えています。

これから留学を目指す方へのアドバイスとして、新しい環境を受け入れ、積極的に挑戦する姿勢が大切です。ヨーロッパには自由な雰囲気があり、大胆に行動できる環境があります。ただし、計画的に学習目標を設定し、柔軟に調整しながら進めることも重要だと思います。



# ダブルディグリー

多摩美術大学は、国際社会で活躍する人材を育成するため、修士課程にダブルディグリープログラム（Master's Double Degree Program: 以下MDDP）を設立しました。本プログラムでは、本学と海外の協定校で学び、修了時に二つの学位を取得できます。

2024年4月、本学はタイのシラパコーン大学とMDDP協定を締結し、2025年度より最大2名の学生募集を開始しました。参加学生は両大学の正規学生として2.5年間の専用カリキュラムを履修し、修了時にそれぞれの修士号が授与されます。また、本学に2年分の学費を納めることで、半年分の学費が助成されます。

タイは、長い歴史の中で育まれた独自の文化を持つ国として知られています。そして、BAB (Bangkok Art Biennale) などのアジアを牽引するアートイベントの開催地として近年盛り上がりを見せています。ぜひこの機会に海外での学びに挑戦してみてください。

MDDP公式Web



## シラパコーン大学について



シラパコーン大学は、タイ国内に5つのキャンパスを有する国立大学であり、13の学部と大学院を持つ国内最高峰の芸術系総合大学です。イタリアの彫刻家シン・ピーラシー教授等によって1943年に創設され、絵画・彫刻学部を設けて開学されました。本学とシラパコーン大学は、1982年に学術協定を結んで以来、毎年のように交流を続けています。MDDPの設立は、両校の発展と友好関係を象徴するできごとです。

## 専用カリキュラム

MDDPに参加する学生は、多摩美術大学とシラパコーン大学の正規学生として、双方教員による研究指導やサポートを年間のタイへの留学、両校における大学院科目の受講、日本語と英語での修士論文等の執筆、修了作品の制作など、通常の学生生活より密度が濃く、ハードなものとなります。

## 多文化環境での学び

日本とタイにおける研究・制作活動に打ち込むことができます。アジアのartを牽引するタイで、国際感覚を養い、世界的な活動の第一歩を目指します

## 学費サポート

多摩美術大学へ学費を納めることで、シラパコーン大学の学費については全額免除されます。また、多摩美術大学の学費助成制度により、3年目に当たる0.5年分の学費が助成されます（=多摩美術大学修士課程2年分の学費のみ発生）。

## 応募資格

- 多摩美術大学学士課程を卒業した大学院修士課程1年生
- 以下いずれかの専攻（領域）に属すること。
  - 絵画専攻日本画研究領域
  - 絵画専攻油画研究領域
  - 絵画専攻版画研究領域
  - 彫刻専攻
- 英語力を証明するスコア（例：IELTS 4.5以上）
- 他国文化や語学学習への意欲など、国際的な環境での積極性

## スケジュール

	修士1年 4月	修士1年 5月 ~ 10月	修士1年 11月 ~ 10月	修士2年 11月 ~ 8月	修士3年 9月
多摩美術大学	募集 選考 合格発表	→ 多摩美術大学で就学 (長期休暇含む)		→ 多摩美術大学で就学 (長期休暇含む)	プログラム修了 学位授与
シラパコーン大学			→ シラパコーン大学で就学 (長期休暇含む)		



# Pacific Rim

Pacific Rimプロジェクトとは、全米トップの美術大学のひとつである、アートセンター・カレッジ・オブ・デザインと協力し、2006年から実施している本学独自の留学制度のひとつです。

このプロジェクトでは1年ごとに開催地をアメリカと日本で交互に設定し、現地に3~4か月滞在しながら共同研究を行います。日本で実施の年度も指導教員にはアートセンターの教員がいるため、授業は全て英語で行われ、国内にいながら留学を経験することができます。両校の学生たちが少人数の混成チームを組み、言語や文化の壁を越え、リサーチや特別講義、ディスカッションによって課題への理解を深めながら、アートとデザインの力によって日常的な課題の解決に取り組みます。

将来的に海外での活躍を視野に入れている学生にとって、英語力の向上を図りながら異文化への理解を深め、コミュニケーション能力や国際性を身に付ける絶好の機会となります。

## アートセンター・カレッジ・オブ・デザイン



<http://www.artcenter.edu>

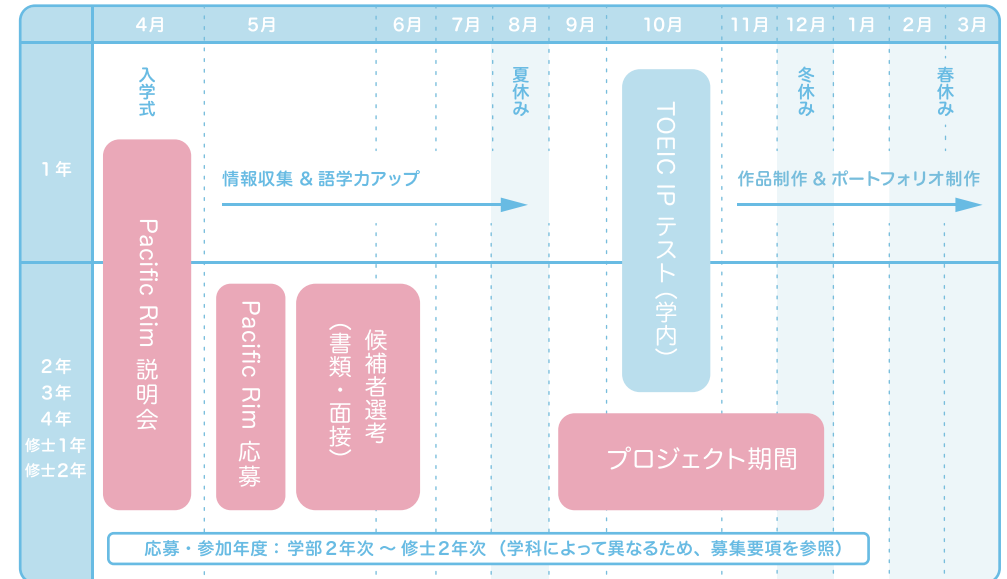
高級住宅地のカリフォルニア州パサデナに位置し、全米屈指の美大として名を馳せています。産業界との結びつきが強く、アーティストやデザイナーへ現実的なスキル

を教えるという使命のもとに設立されました。多くの卒業生が各界でデザイナーとして活躍しています。

Pacific Rimのプロジェクト期間中には、特別カリキュラムが用意され、研究テーマに関連した企業やアーティストによる特別講義、日本・アメリカ文化を学ぶ授業、ストーリーの組み立て方やプレゼンテーションの訓練をする授業、RhinoCerosという3Dソフトウェアやレンダリングソフト(Twin motion)を学ぶサポート授業が用意されているので、文化体験だけではなく、デザインの技術も学べます。過去に行われた本プロジェクトで学生たちが制作した作品のいくつかは、IDEAやiFといった世界的コンペティションで受賞するほど、非常に高い成果を挙げています。

## 入学からプロジェクト開始までの流れ

詳細は募集要項を確認してください。



## Pacific Rimをもっとよく知ろう!

TAMABI NEWSの特集記事 (P6-9)

<https://www.tamabi.ac.jp/pro/tmbn/no-89/html5.html#page=6>



Pacific Rim プロジェクト

[https://www2.tamabi.ac.jp/pacific\\_rim/](https://www2.tamabi.ac.jp/pacific_rim/)



# Pacific Rim 体験記

アートセンターの学生たちと協働で制作を行うことが特徴の Pacific Rim。それぞれのステージを経験した先輩たちに実際の様子を聞いてみました。

## JAPANステージ：開催地 多摩美術大学

### 鷺山 響

プロダクトデザイン専攻  
Pacific Rim



### 田村 佑香

油画専攻  
Pacific Rim



大学では学べない技術の体験が制作への意欲を一層高めた。

デザインを学ぶ学生として、他者と協力して作品を完成させるという経験はとても重要であると考えていました。さらに今回はアメリカの大学でデザインを学ぶ学生との共同制作とのことで、異なる環境で学んできた学生と知恵を出し合いながら制作を行った3ヶ月間は多くの学びがあり、貴重な経験となりました。

プロジェクト開始後に行われたリサーチトリップでは、日本の伝統技術の職人さんを尋ねて見学をさせていただき、技術や普段の制作に生きる知識を学ぶことができました。大学の授業では学ぶことのできない高度な技術を見学したことで、制作への意欲がより一層高まりました。また日常会話で英語を使い続けたこの3ヶ月間で、語学力がかなり伸びたと実感しました。日常的に英語を耳に入れ、自らも英語を使って表現するという経験は日本ではなかなか得ることのできない貴重なものであり、このプロジェクトを通して自分の成長を感じることができました。



最終プレゼンテーションの様子

Pacific Rimは海外の学生と特に密に交流を持てるプログラム。



最終プレゼンテーションの様子

私は美術を使って社会に還元するために美術と社会がどう関われるのか、見識を広げるため、Pacific Rimに参加を決めました。語学力は、国際交流センターの方に学習方法を相談したり、昼休みに同センターで開催されている『スピーキングをしようの会』に参加したりしていました。スピーキングの会では毎回様々な学科の人と話すことができ、語学力の他にコミュニケーションをとる練習にもなりました。Pacific Rimではそれぞれのチームでテーマを決め制作するため、お互いの意見交換が重要でした。違った意見を交わし、試行錯誤することは緊張感もありながら、同時に楽しかったことでもあります。Pacific Rimは他の国際交流のプログラムよりも密に海外の学生と交流出来るプロジェクトです。美大生としてだけでなく、人としても多くのことを学びました。挑戦することで自分をさらに成長させることができるプロジェクトだと思います。

## AMERICAステージ：開催地 アートセンター・カレッジ・オブ・デザイン

### 大島 宏士郎

グラフィックデザイン学科  
Pacific Rim



### 海津 綾花

統合デザイン学科 卒業  
Pacific Rim



他学生との交流が、将来の選択を広げる貴重な財産に。

Pacific Rimに参加し、いかにこのプロジェクトが貴重なものだったのかを実感しました。海外大学での制作は、視野を間違いなく広げてくれる経験です。デザインのアウトプットや考え方の違いなど、学科の違う学生とコミュニケーションを通して知る内容は、将来の選択肢を広げてくれるのだと感じました。私の専攻はグラフィックデザインのため、今まで1人での制作が中心でした。しかし、他専攻の学生との共同制作を通じ、意見が異なりつつながらも制作する日々はとても刺激的でした。なによりこのプロジェクトを通じて得た仲間が財産になりました。制作以外にも、アメリカでの生活もとても貴重な経験でした。アートセンターのあるバサデナという街も、メキシコからの移民が多く住む地域であり、観光で行く地域とは違う、アメリカリアルを経験できました。グループでの制作と生活、どの記憶を切り取ってもこの3ヶ月間は特別でした。



アートセンターの学生たちとのミーティング

自分を振り返り、将来を考える経験になった。



アートセンターの学生との共同制作風景

Pacific Rimは、自分の経験を振り返り、将来を考えるいい経験になりました。参加を決めた理由は、大学在学中の留学が目標の一つであり、また、テーマが自分の興味に合致していたからです。このプロジェクトは日本から参加する仲間がいるため、初めての留学として最適でした。渡航前には、会話の練習に力を入れて英語を学びました。上野毛には国際交流センターがないため、まずは八王子に連絡をし、学習方法やスピーキングの練習相手を紹介していただきました。

私たちのグループは、学生がストレスから逃れてリセットできる空間をデザインしました。現地で学んだ3Dモデリングの技術や空間の考え方を、今後の制作や展示計画を立てる際に活用していきたいです。Pacific Rimに参加した際は、ぜひ他の学生とたくさん話し、行ったことのない場所に行って、初めての体験をたくさんしてください。



# 多摩美TRY

「多摩美TRY」は、これまで海外渡航や海外在住の経験がほとんどない学生を対象とし、初めての国際交流に挑戦しやすい機会を提供することを目的としています。語学力に関する応募条件はなく、「挑戦してみたい」という意欲があれば応募可能です。留学先はメルボルン (Insight English Academy) またはホノルル (ハワイ大学マノア校) のいずれかです。2週間の短期集中語学プログラムを通じて、英語の基礎を学ぶとともに、異文化理解を深める貴重な経験を得ることができます。

また、本プログラムは、将来的に交換留学やダブルディグリーなど、より高度な国際交流プログラムに挑戦するきっかけとしての役割も期待されています。多摩美術大学からの奨学金サポートも用意されており、参加のハードルを下げる環境が整っています。

これまで海外へ行く機会がなかった方も、このプログラムを通じて、新たな世界に触れ、視野を広げるきっかけをつかんでみませんか？ 多摩美TRYが、あなたの挑戦を応援します。

※多摩美TRYの情報は2025年4月時点の内容です。最新の情報は毎年7月に公開予定の募集要項をご確認ください。

## 授業タイムテーブル：メルボルン

Insight English Academy モーニングクラス：月曜-金曜 | 8:00am-12:30pm

TIME	DAY	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
8:00 am   10:00 am		・マインドフルネス(瞑想)	・マインドフルネス(瞑想)	・マインドフルネス(瞑想)	・マインドフルネス(瞑想)	・マインドフルネス(瞑想)
		・レベルチェックテスト	・文法 A ・他のクラスとの 面接練習	・文法 B ・リスニングと 歌の歌詞の分析	・文法 A 振り返り ・発音	・文法 B 振り返り ・自信強化トレーニング
30 MINUTES RECHARGE BREAK						
10:30 am   12:30 pm		・スピーキング & 語彙 ・スピーキングゲーム	・リスニング & 語彙 ・リーディングと 問題解決能力	・ライティング & 語彙 ・プレゼンテーション練習	・美術館へ遠足 ・TikTokビデオ作成	・リーディング & 語彙 ・リアルワールド チャレンジ
		多摩美生専用 オリジナルアクティビティ				

## 授業タイムテーブル：ホノルル

ハワイ大学マノア校 短期集中語学プログラム Spring 2-Week NICE Program

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
DATE	Mar. 4	5	6	7	8	9
am 8:30   am 9:20	・Wellcome Orientation ・Placement Testing	・English Class	・English Class	・English Class	・English Class	9:00am-12:00am ・Malama Maunala Optional Activity
am 10:30   am 12:20			・English Class	・English Class	・English Class	
DATE	Mar. 11	12	13	14	15	
am 8:30   am 9:20		・English Class	・English Class	・English Class	11:00am-1:00pm ・Graduation	
am 10:30   am 12:20	・Off-campus educational activity with class	・English Class	・Hula Workshop	・English Class		

タイムテーブルは変更する可能性があるため、事前に確認してください。

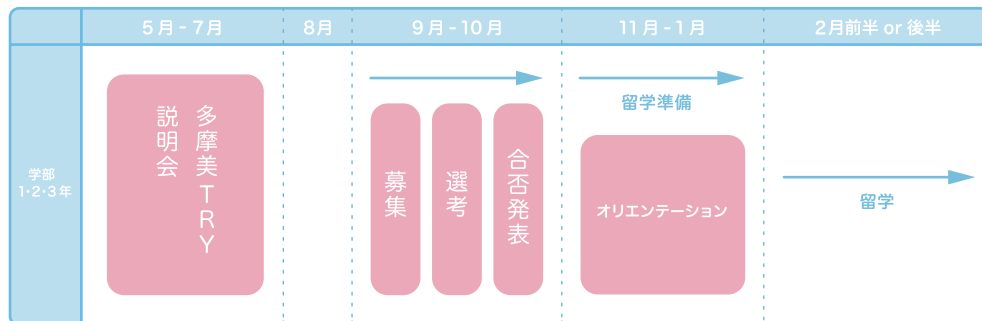
# メルボルン：Insight English Academy



メルボルン中心部 (CBD) にある語学学校「Insight English Academy」で、約2週間の短期集中語学プログラムに参加します。英語の習得はもちろん、クリエイティブなアクティビティを通じて、総合的なスキルを楽しく伸ばせるのが特徴です。海外での生活には、語学力だけでなく、自信や精神的な強さも必要になります。Insight English Academyでは、プログラム修了後も前向きに、そして積極的に英語圏での生活を楽しめるよう、学生の自信を育む独自のカリキュラムを提供しています。

- 募集人数 ——— 最大20名
- 選考方法 ——— 書類選考および面接選考
- 留学費用 ——— 40万円程度
- 留学費用サポート — 多摩美術大学より10万円の奨学金が支給されます。
- 現地滞在方法 ——— ホームステイ
- 日本語サポート ——— 有
- その他 ——— プログラムを完遂すると証明書が発行されます。

## 留学までのスケジュール



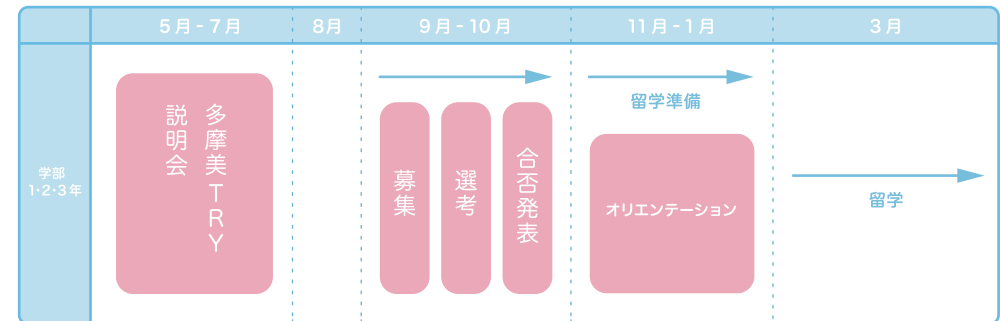
# ホノルル：ハワイ大学マノア校 短期集中語学プログラム



アメリカの名門「ハワイ大学マノア校」が提供する語学プログラム「New Intensive Courses in English (NICE Program)」に2週間（年度によっては3週間）参加します。このプログラムは、特にオーラルコミュニケーションスキルの向上を重視しており、ハワイ大学の学生との交流や、ハワイの文化を体験できるワークショップなど、ユニークな授業が人気です。今日のグローバル社会で活躍するためには、言語だけでなく文化の理解も欠かせません。このプログラムでは、会話力を中心に、実践的な英語力と異文化理解を楽しく学ぶことができます。

- 募集人数 ——— 10～20名程度を予定
- 選考方法 ——— 書類選考（応募者多数の場合は面接選考を実施する可能性あり）
- 留学費用 ——— 65～75万円程度
- 留学費用サポート ——— なし
- 現地滞在方法 ——— ホームステイ  
(マノア校の学生寮になる可能性もあり)
- 日本語サポート ——— 有
- その他 ——— プログラムを完遂すると証明書が発行されます。

## 留学までのスケジュール



# 留学実現のための5STEP!

留学を実現するためにはどのような準備が必要なのか。  
海外大学院留学中の先輩が語る、留学前に取り組んでおくべきステップ。



留学の準備はほとんどの人が初心者。『何もわからない』からスタートするのが普通です。準備は大変ですが、1ステップずつ確実に進んでいきましょう！

## 三井 悠華

日本画専攻 卒業  
大学院進学：国立台湾芸術大学



### PORTFOLIO

多摩美アカウントでログインすると  
ポートフォリオ全体を閲覧できます。

## STEP 1 \* テーマを見つける

### 海外のどこで、何を学びたいのか 自分のイメージを整理する

私の場合、大学1年次から「本場で水墨画の真髄を学びたい」という目的が明確にありました。留学先の国立台湾芸術大学のことは高校時代から知っていて、多摩美術大学に進学した理由もここが交換留学の提携先だったからです。

また、希望の留学先が全くない状態でも、『何を学びたいか』『どの国にいきたいか』『誰に学びたいか』『留学後にどんな自分になっていたか』などのキーワードから少しずつ留学のイメージを固めていくこともできます。

## STEP 2 \* 情報収集

### 国際交流センターに通って 自分の留学に必要なものを調べる

もともと在学中の交換留学を目指していたこともあり、留学の申請には何が必要なのか知るため、国際交流センターで情報収集をしました。ここで成績や語学力に加え、ポートフォリオが必要なことを知りました。

### POINT!

#### 国際交流パーティーに行こう！

この時期に、国際交流センターが年に2回主催する『国際交流パーティー』に行ってみましょう！様々な国から多摩美に留学しに来ている交換留学生たちと話すことで留学のイメージが掴めることもあります。そこで友達ができれば、語学面のサポートをし合う関係になることも。

## STEP 3 \* 語学の習得

### 留学には一定の語学力が不可欠 必要なスコアを目指して勉強！

海外の大学に留学するためには、留学先に合わせた一定の語学力が必要になります。これがなければ何も始まりません。私は大学3年次までに中国語検定HSK4級を取得し、その後も定期的にHSKを受検しました。英語圏であればTOEFLやIELTSが検定として一般的です。

### POINT!

#### 語学学習はできるだけ早くスタートを！

『いつかは留学をしたいな...』と思っているあなた。今日から勉強を始めましょう。語学学習は早く始めるに越したことはありません。スキルは十分なのに、語学能力が足りず留学できない、ということだけはならないように...！  
まずは単語の勉強から始めましょう！

## STEP 4 \* ポートフォリオ制作

### 指定されたフォーマットで在学中の作品を最大限アピール

多くの美術系大学の出願には、規定のポートフォリオ提出が必要になります。私の場合、大学4年次の卒業制作を完成させ発表をした後、2月から一気にポートフォリオを作成し、3月に台湾の大学に国際便で郵送しました。

ポートフォリオはAdobe Illustratorを使って作成しました。作品が際立つように、できるだけシンプルなレイアウトを心がけたことがポイントです。提出先に合わせて、英語や中国語の作品解説も必要になります。



三井さんのポートフォリオ

## STEP 5 \* 必要書類の提出

### 出願の大詰め! 成績証明書、 研究計画書、語学証明書などの提出

大学の出願にあたっては、ポートフォリオ以外にも成績証明書、大学教員からの推薦書、語学テストのスコア、研究計画書などの提出が必要です。書類審査通過後、面接を受け、合格ならビザ取得という流れになります。





# 留学実現のための

## ポートフォリオ制作

ただでさえ難しいポートフォリオ制作。それを英語で、となると... (汗)。基本的なポートフォリオのまとめ方、英語ならではの気を付けるポイントなどをみてみましょう。



ポートフォリオ制作では、撮影、全体の構成やレイアウト、製本、英文の校正など考えることが盛りだくさん。ここでは最低限気をつけたいポイントについて紹介します。

### 倉本 大豪

大学院グラフィックデザイン領域 修士  
大学院進学：オスロ国立芸術大学



### PORTFOLIO

多摩美アカウントでログインすると  
ポートフォリオ全体を閲覧できます。

## POINT 1

### "大学用" のポートフォリオ作りを

みなさんが制作するのは、就活用ポートフォリオではなく、大学に提出する言わば"大学進学用"ポートフォリオです。なので、『どんな研究してきたのか』『これからどんな研究をしていくのか』がとても重要になります。僕の場合は『研究内容ベース』で作品を配置し、目次や見出しを使って、研究内容を簡潔に伝えることを心がけました。

## POINT 3

### 作品撮影のクオリティは超重要

『長文は読まれない』という話をしましたが、ではポートフォリオを見る人はどこを一番見ているのでしょうか。そう、『作品写真(画像)』です。パラパラと読み飛ばされても写真だけは確実に目に入ります。なので、言わずもがな作品写真のクオリティはポートフォリオの完成度に直結します。作品に立体物がある場合は時間をかけて撮影しましょう。

## POINT 2

### 『読まれない』ことを前提に構成する

残念ながらポートフォリオの中の長い文章はほとんど読まれません。溢れんばかりの熱意で長文を書いたとしても、たくさんの受験者のポートフォリオを見ないといけない大学教授たちには読み飛ばされてしまいます。なので、文章を簡潔にすることはもちろん、『最低限どの文字を読ませたいのか』を考えてレイアウトすることはとても大事です。

## POINT 4

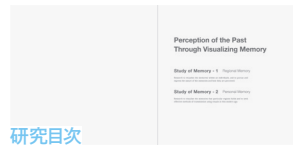
### 文字情報のサイズ調整は丁寧に

レイアウトでは、文字のサイズとテキストの情報量には注意しましょう。冊子のサイズに対して文字が大きすぎて作品の邪魔をしているポートフォリオや、気持ちが文字に溢れすぎて作品がパツと目に入らないポートフォリオをよく見ます。しかし、文字の調整を適切に行うだけで綺麗に見せることができます。ちなみに、英文の扱いは和文より相当楽です。

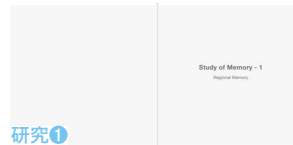
## ポートフォリオ全体の流れ



表紙



研究目次



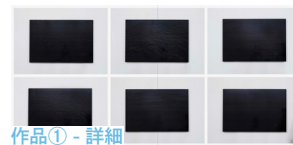
研究①



作品① - 導入



作品① - メインページ



作品① - 詳細



作品① - 展開



作品① - 展開



作品① - 制作背景



作品① - 制作背景



作品② - 導入



作品② - メインページ



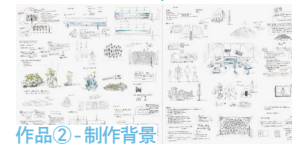
作品② - 詳細



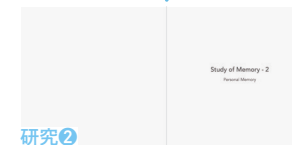
作品② - 詳細



作品② - 制作背景



作品② - 制作背景



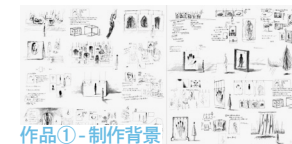
研究②



作品① - メインページ



作品① - 詳細



作品① - 制作背景



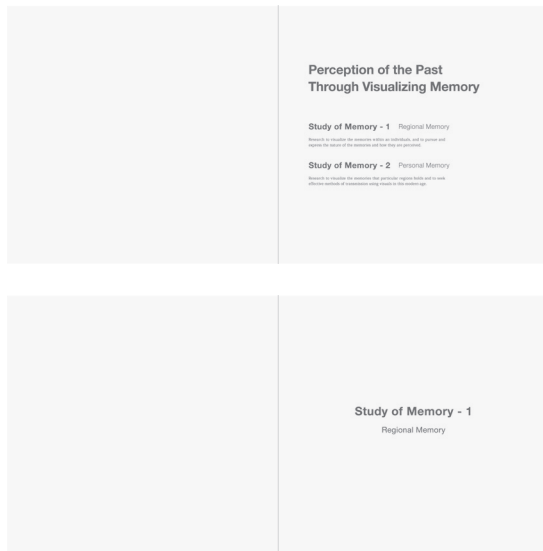
作品② - メインページ



作品③ - メインページ



自己紹介



### 目次や見出しをうまく使う

目次や見出しをうまく使うことによって『制作のテーマ』や『どんな流れで研究や制作が進んできたか』を簡潔に伝えることができます。また、目次や見出しは文字情報の中でも目につきやすい部分なので、しっかりと整理して活用するのがベターです。



### 文字情報の整理をする

『文字情報の整理』とは、簡単にいうと『文章の重要度のランク付け』をすることです。

たとえば、左のページでは文字情報を重要度によって3つの大きさに分けています。重要度1の文字は『絶対に伝えたい情報』、重要度3の文章は『最悪読まなくても作品の理解には支障のないもの』です。

ポートフォリオを見る人が、どの情報を読んでいけばスムーズに内容が伝わるのかを常に考えながらレイアウトをしてみましょう。



### 作品紹介は簡潔に

作品紹介、特に各作品ページの冒頭1ページ目は『とにかくシンプルに、分かりやすく』構成することをオススメします。冒頭のページではメインの写真1~2枚と作品名、そして簡単な説明のみで十分です。他にも伝えたいことがある場合は続く2、3ページ目で伝えていくのが良いでしょう。ここでも、写真の大きさ、文字のサイズや量によって見る人に与える印象は大きく変わってきます。



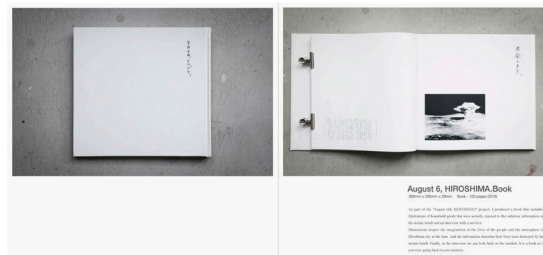
### 作品撮影を丁寧に

写真はポートフォリオの命です。写真の完成度が上がるだけで、ポートフォリオの完成度はグッと上がります。逆に作品が良くても写真が悪いと作品自体も悪く見えてしまいます。

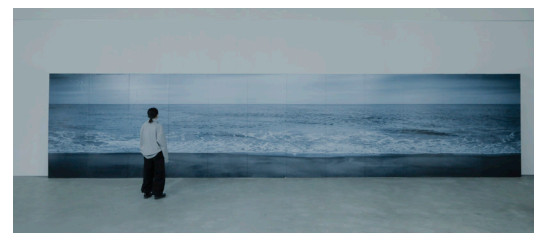
撮影は難しいですが、撮影の際はとにかく「作品に無駄な要素を省く」と「綺麗な光を用意する」ことが良い写真を撮るポイントです。作品の大きさを視覚的に伝えるために人や手を写真の中に入れるテクニックも効果的です。

学内写真スタジオも利用可能ですので魅力的な写真撮影に挑みましょう。

\*スタジオは予約制です



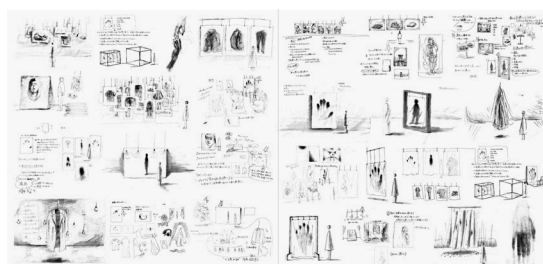
また、レイアウトフォーマットをあらかじめ決めておき、そこに文字を当てはめていく方法も簡潔なレイアウトのポートフォリオ作りには有効です。



### 留学ポートフォリオ講座を活用しよう

国際交流センターでは、僕が講師として開講している「留学ポートフォリオ講座」を年2回開催しています。留学用と就職活動用のポートフォリオでは求められる内容が異なるため、本講座では留学に特化した内容のポイントを学ぶことができます。この講座では、具体的な構成例やポー

トフォリオ制作の心得などのレクチャーや、参加者のポートフォリオ添削などを行っています。参加無料で、ポートフォリオ制作経験の有無は問いません。詳細は、国際交流センターのWEBページでご確認ください。



### スケッチなどの制作背景も効果的

制作中に描いていたスケッチやメモも掲載しています。作品のコンセプトを文章で見せるだけではなく、制作を進めた際のアイデアスケッチや展示計画のイメージを掲載することで思考力や計画性を見せることができます。

# 留学実現のための

語学力UP!  
in 多摩美

留学の必須項目であり最大の壁「語学力」。身近で学べることはないのだろうか...  
... あります、多摩美に！英語の授業と語学検定を中心に紹介します。

## 目的に応じた多摩美の語学カリキュラム

### Portfolio Writing

アートやデザインを学ぶ学生にとって、英語力は活躍の場を広げる武器。リベラルアーツセンターには目的別の幅広い英語の授業が揃っているので、将来のビジョンに合わせて履修が組めます。たとえば『Portfolio Writing』では、ポートフォリオで使える単語や文章の型を学び、実際にポートフォリオを作成。海外に向けて発表できるレベルまで、“使える”英語力を練り上げます。



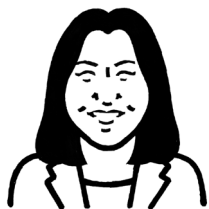
荒木慎也先生によるPortfolio Writingの授業

### English in Art & Design I

『English in Art & Design』はその名の通り、美術・デザインで使われる英語を学ぶ授業です。前期は作品描写や分析、後期は美術・デザインに関連する様々なテーマについて議論することを英語で挑戦します。しかし、専門的な語彙よりも日常でも使える英語表現に重きを置き、そして課題や演習で提示されたお題を基に、履修生は自主的に英語を学んでいきます。英語を介して様々な学科の学生がそれぞれの知・美的好奇心を共有できる稀な場です。



常石憲彦先生によるEnglish in Art & Design Iの授業



将来のビジョンに向け、4年間で計画的に英語力を磨いてほしいと思います。悩んだらリベラルアーツセンターの英語相談窓口へ！

高梨 美穂 教授  
リベラルアーツセンター

# 語学能力試験

語学能力検定試験の一例です。  
希望する留学先の語学能力条件を確認して、計画的に準備をしましょう。

## IELTS

International English Language Testing System (IELTS :アイエルツ)は、海外留学や研修のために英語力を証明する必要がある方、およびイギリス、オーストラリア、カナダなどへの海外移住申請に最適なテストです。

イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほぼ全ての高等教育機関で認められており、アメリカでもTOEFLに代わる試験として入学審査の際に採用する教育機関が3,000を超え、英語力証明のグローバルスタンダードテストとして世界中で受験者が増え続けています。

## TOEFL®

TOEFL®テスト (Test of English as a Foreign Language) は、大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に測定します。

TOEFLテストは世界中の英語検定テストの中で、幅広い国々で受け入れられているテストです。アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダのほぼ全ての大学をはじめとした、150か国、10,000以上の機関がTOEFLテストスコアを英語能力の証明、入学、奨学金、卒業の基準として利用しています。日本では教育機関等での学内単位認定や、入試優遇、海外派遣選考の目安として利用されています。

## TOEIC

一般的にTOEICと言われているテストは、TOEIC Listening & Reading Testを指します。このテストでは、ビジネスや日常生活における英語のコミュニケーション能力を測ります。基本的に、海外大学の受験をする際にTOEICのスコアを利用することはできないので、注意が必要です。しかし、日本国内における就職活動をする際には、今でも多くの学生たちに利用されています。また、多摩美術大学の国際交流プログラムの学内選考では、TOEICスコアを受け付けています。

### TOEFL iBTおよびIELTS Academic 受験料の補助

- 国際交流センターでは、留学希望者のニーズに応えるため、2022年度よりTOEFL iBTまたはIELTS Academicを受験する学生に対し、受験料10,000円を補助しています。年度内に1人1回限り、先着15名の予定です。

※詳細は、大学ホームページをご確認ください。

- また、検定試験の過去問題集や語学学習に関連した本の貸し出しを行なっています。こちらもぜひ活用してください。

# 留学実現のための実践力UP!

ここでご紹介する3つの研修は、海外を目指す学生はもちろん、国内での活躍を視野に入れている学生にとっても将来にわたって欠かせない貴重なスキルを習得できる機会です。学生のうちから実践的な力を身につけることで、自信を持って未来へ踏み出しましょう!

## 実践的英語力を伸ばすスキルアップ研修



研修の様子

## プレゼンテーション研修 開催時期：8月上旬・1月下旬

ネイティブの講師による3日間の短期集中研修で、効果的な発表スライドの作り方や、日本と西洋のプレゼンスタイルの違いを学びながら、聴衆を惹きつけるスキルを身につけます。研修終了後には、一人ひとりに講師からの詳細なフィードバックレポートが提供されます。授業とはひと味違い、デザインやファインの枠を超えて受講者同士が交流できる、刺激的で楽しい機会です。自らの考えを発信する力を、この研修で磨きましょう。

## ディスカッション研修 開催時期：8月上旬・2月下旬

3日間の研修では、ディスカッションスキルを習得するだけでなく、コミュニケーションの根幹となる異文化理解についてのレクチャーも含まれています。大学の講義中の議論、展覧会での会話、ホームパーティーでの交流など、さまざまなシチュエーションで役立つコミュニケーション方法を学びながら、より自然に、自信を持って会話を楽しめる力を養いましょう。

## ライティング研修 開催時期：8月上旬・3月下旬

1日集中研修で、アカデミックライティングの基本ルールを身につけましょう。授業レポートなど、学術的文章の書き方を学びます。講義は1日のみですが、課題として執筆した文章に対し、講師からの丁寧な添削フィードバック+マンツーマン指導を1回受け取ることができます（オプション料金が発生します）。効果的な表現や論理的な構成を磨き、より質の高い文章を目指しましょう。

※各研修の内容・スケジュールは変更となる可能性があります。 ※参加費が発生します。

# プレゼンテーション研修 体験記

## 山田 佳奈

大学院 日本画領域  
プレゼンテーション研修



緊張した時間だった分、自身の英語力の向上を実感できた。

前々から交換留学に行きたかったため、英語力向上を目指して参加しました。研修では、主に自分の制作について人前で紹介する練習を繰り返しました。そしてこの経験が最も役に立ったと感じたのは、交換留学の内部選考です。英語で面接があったので、そもそも面接自体の経験が少ない私は不安でいっぱいでした。ですが、人前で英語を話す経験、そして作品について英語でアウトプットするという経験があったため、乗り越えることができました。人前で、しかも英語で、自身の制作について発表する機会はとても貴重でした。緊張の続く時間でしたが、その分英語力が伸びたことを実感しています。交換留学に関わらず、留学を目指す方は英語で作品について発表する機会があるはずなので、そういった方にお勧めしたいです。今後、私はディスカッション講座にも参加する予定です。そして、自身の作品以外にも、芸術や社会問題について自身の考えを英語で述べられるレベルにまで英語スキルを高めます。この先、留学先で様々な背景を持った人々と意見交換し、多様な考えと出会うことが私の夢です。

## 利谷 成美

油画専攻  
プレゼンテーション研修



この経験は、今後のアーティスト活動にも役立つと感じた。

私がプレゼンテーション研修に参加した理由は、英語力の向上と世界で通用する発表技術を習得したかったからです。相手に伝える力は、将来にわたって重要なスキルだと考えています。特に、英語圏のプレゼンテーション手法を学び、実践する経験は、今後のアーティスト活動にも大いに役立つと感じました。

研修で最も印象に残ったのは、他の参加者のプレゼンテーションです。わずか3日間で、発表内容や表現力が大きく向上していく様子を目の当たりにしました。私自身の成長も実感でき、聴衆との自然なやり取りが生まれる瞬間は大きな刺激になりました。この研修を2回受講して感じたのは、スキル向上には「経験」が不可欠ということです。1回目と2回目を比べると、スクリプトの組み立て方や緊張の度合いに変化がありました。全く経験がない方でも、回数を重ねることで確実に上達できると確信しています。

英語圏のプレゼンテーションを集中的に学べる機会は多くありません。興味があっても、人前で話すことに不安を感じ、参加をためらう方もいるかもしれません。しかし、この研修は非常に貴重な経験になります。少しでも関心がある方は、ぜひ挑戦してみてください。

## 様々な留学 ①

## 私費留学 体験記

大学のサポートがある交換留学などとは違い、全て自分の判断で決める必要がある「私費留学」。それだけ自由度も高いということだけど…。実際はどのような留学生活なのでしょう。



## 加藤 理子

芸術学科 卒業  
私費留学：プラット・インスティテュート

エディターになる夢を実現させるため  
ニューヨークでしかできない体験をする。



## 自分に足りないものは何かと考えるプログラムを選びました

ニューヨークのプラット・インスティテュートという芸術系大学に留学しました。私の場合は、大学3年次終了後、1年間休学をして、私費留学をする道を選びました。受講したのは、「ファッション・ニューメディア」というサーティフィケート・プログラムです。これは、ファッションブランドやクリエイティブな組織をどのようにブランディングし、アウトプットしていくか…などをテーマに、幅広い科目を履修できる課程で、修了すると認定証がもらえます。

幼い頃からファッション好きだった私は、学業の傍ら、デザインした服の販売や雑誌編集部でアシスタントなど、多様な活動に取り組んできました。その中で、「つくる側ではなく、その魅力を発信する立場になりたい」という

志を持ったのが留学に行くきっかけでした。そして、この夢を実現するために自分に足りないものは何かと考える、今回のプログラムを選びました。履修する科目群は、まさに将来に直結するものばかりでした。授業では、Adobe系のグラフィックソフトを使った雑誌づくり、撮影テクニック、ブランドコンテンツづくりなどのほか、デジタルマーケティングやコンシューマーマリサーチ（消費者調査）なども学ぶことができます。デザインやファッションだけでなく、ビジネス寄りの科目が多いのがこのプログラムの魅力だと思います。受講生は留学生も多く、カナダ、フランス、イタリア、コロンビア、タイ、中国、韓国など世界中からやってきた学生と交流ができます。ファーストキャリアを積んだ後、転職やキャリアアップのために通っている社会人や学生も多く、その意識の高さからも刺激を受ける日々でした。

私にとって、ニューヨークという街は、高校時代から特別な場所でした。高校2年次に家族とニューヨークを訪れた際、メトロポリタン美術館で、「GAMP」というファッション系の企画展を見て、衝撃を受けたのです。そのスケールや世界観は、日本では味わったことのないものでした。「ここに行けば心を動かされる瞬間がある、ニューヨークに行けば夢や目標に近づける」心のどこかでそんな思いを持つようになっていました。留学でニューヨークに来てすぐの2022年2月に、ブルックリン美術館でクリスチャン・ディオールの展示を見て、「やっぱりこれだ!」と確信しました。この心を動かされる体験は、ニューヨークでしか味わえないものだと思います。



クリスチャン・ディオールの展示

なぜその国を選ぶのか  
どんな人に会って、何をしたいのか

ニューヨーク留学中にこうした世界観をよりダイレクトに感じるために「ニューヨークファッションウィーク2022」のアジアファッションコレクションのお手伝いも経験しました。PRのボランティアスタッフとして、バックヤードに入り、コロナ禍で来場できなくなったデザイナーさんの代わりにフィッティングなどを行いました。キラキラしたファッション業界の裏側で、地道な仕事を学びながら、ショーに関わる多くの人のパッションに触れられたのは貴重な経験になりました。

語学に関しては、留学に行くまで長い期間があったため、いわゆる英語塾に入り「英語に触れる環境づくり」からスタートしました。しかし、ある程度の語学力は必要ですが、それを得た後は「どのような留学にしたいか」を考えることが重要であると個人的に思います。もちろん学業も大事ですが、留学先で会う人、異なる文化や価値観にたくさん触れることは間違いなく自分を成長させます。なぜその国なのか、どんな人に会って何をしたいかじっくり考えてみてください。実際、私は、現地のファッションショーでのアシスタントや渡米前から関心があった会社でのインターンなど、最高の経験をしました。今は、NYで出会った人々に再会できるよう、留学で吸収したスキルのブラッシュアップに努めています。



ニューヨークファッションウィークでアシスタントを務めた際の1枚



ニューヨーク、ヤンキースタジアムにて

## 様々な留学②

## 海外大学院 体験記

多摩美の学部を卒業した後も、留学の選択肢はたくさんあります。そのひとつが「海外大学院」。さらに高いレベルの制作や研究を海外で行うことには様々なメリットがあります。



## 南雲 未希

日本画専攻 卒業  
大学院進学：国立台北芸術大学

## 日本との共通点と違い両方がある台湾で、新たな発見を自分に取り入れる。



アトリエにて

## 日本と同じ画材でも、その用い方や構図は独特で新鮮に映った。

私が台北藝大への進学を志したのは、多摩美在学時にこの大学への交換留学の機会を得、台湾そして学校の雰囲気が自分に合っていると感じ、自身の制作をより良く発展させられると思ったからです。同じアジア圏にあり日本の近くに位置する台湾では、日本のお店や商品、文化が日常的に見受けられ日本人にとって馴染みやすい環境です。ですが生活をしていると、やはり至る所でさまざまな違いを体験します。それは絵画、芸術においても同じで、例えば使用画材（特に紙に墨、岩絵具で描く日本画の技法）など共通していますが、その用い方や構図は独特で新鮮に映ります。日本との共通点と違いが入り混ざる台湾で、水墨画また絵画を学ぶことは、これまで日

本画を学んできた私が築いてきたものを活かしつつ新しい発見を取り入れていくのに最適な場所と言えました。

台北藝大はかなり自由度の高い大学です。各専攻の必修科目はありますが、それをどの学期に履修するのかが学生自身で決められます。自由度が高い分、自分でしっかりと計画を立て実行することが不可欠です。特に修士の修了要件は必須科目の履修はもちろん、論文作品提出の他に口頭試験や個展の開催も含まれ、日本の美術大学より要求されるものが多く、各提出書類などの期日、ルールもかなり細かく設定されています。修了要件の多さから3、4年と長く大学院に在籍する学生が一般的で、私も少なくとも3年在籍することになりそうです。研究室の方が個人的に注意喚起してくれることはほぼないので、情報を逃してどんどん修了が遅くなってしまわないように日々確認しています。

海外への留学を通して、  
自国への理解も同時に深まった。

授業は10人程度の少人数制で先生との距離が非常に近いです。世間話も多くリラックスした雰囲気です。日本の美術大学との違いは校外へ展示を観に行く機会が多いことも挙げられますが、最も異なる点は作品に対しての自分の意見、考えを発表する機会が非常に多いことです。どの授業でも同級生や作家の作品に対しての自分の考えを求められます。特に留学生だとその国の絵画史、作家、画材について先生から頻繁に質問されるため、自国への理解を日頃から深める必要があります。私は一学期に美術系の授業（実技、理論を合わせて）を5コマ、中国語の授業を2コマ履修していて、課題は驚くほどの量ではないですが、やはり理論系の授業での発表の準備には下調べを含めかなり時間を要し、制作が捗らない時期が2ヶ月程続きました。多摩美在籍時と比べ、制作よりも文献や論文をもとに絵画を主体的に学ぶ時間が圧倒的に増えました。絵画理論も学びつつ、制作の時間をしっかり確保するのが今後の私の目標です。

台北藝大の学生は話やすく親切な学生がとても多く、また制作・研究熱心で大変刺激になっています。アトリエは24時間使用でき、授業が終わった後は多くの学生が夜遅くまで制作に取り組んでいます。制作だけではなく、発表の準備をしていたり、作品について学生が話していたりする様子が見られます。アトリエにいと、よく同じアトリエの学生が「一緒に夜食頼む?」「飲み物頼む?」と聞いてくれ、私はその誘いにかかなり高い頻度で乗り、台湾人の好みの味や美味しいお店を聞き出しています。

語学学習は十分なものだったとは正直言いにくいのですが、まず大学院受験、そして台湾奨学金への応募をするために必要だったTOCFLという中国語能力証明テストの初級、中級の勉強を主にしていました。このTOCFLはウェブ上に過去問が掲載されていて、それを利用して試験対策兼ねた語学学習をしていました。他には台湾のドラマ、映画、youtubeの台湾人のチャンネルを見たりと中国語に楽しく触れる機会を意識的に作っていました。また多摩美には台湾人や中国人の学生も多く

在籍しているため、勉強した中国語が実際に通用するかを試すことができ、継続が大事な語学学習でのモチベーションとなっていました。

## 「留学してみたい」という気持ちを言葉に、そして行動に。

最後に、留学は自分の思い通りに行かず不安や焦りも人一倍経験するかと思います。そんな時は一人で考え込まずに、国際交流の職員さんや大学の先生、友人などにたくさん話をしてみてください。意外な角度からヒントや希望が得られたり、気が楽になったりします（笑）。実際、現在受給している台湾奨学金への応募に当時実力不足かと思いつめていたのですが、国際交流の職員さんに相談したところ強く鼓舞してくださり、おかげで決心がつき挑戦することができました。この過去の私の頑張りが現在の私を経済的に助けてくれているのはもちろん、目標を達成できたことへの自信に大きくつながっています。受験から留学にこぎつけた現在、感じていることは、思い切って行動に移してみるとその過程では困難があっても最終的には案外何事もうまくいくということです。留学してみたい、そう思う気持ちを言葉に、行動にして、是非挑戦してみてください。



同級生の展示にて

## 様々な留学 ③

## アーティストインレジデンス 体験記

大学卒業後の進路には、「作家として」海外に滞在する方法もあります。それがアーティスト・イン・レジデンス。聞き馴染みのない人も多いため、レジデンス経験者であるムーニー准教授にお話を聞きました。



## ムーニー・スザヌ

大学院美術研究科 准教授  
アーティストインレジデンス

日常生活から離れ、創作活動に専念できる環境に身を置く特別な時間。



## アーティスト・イン・レジデンス (AIR) とは?

アーティスト・イン・レジデンスとは、アーティストを国内外から一定期間招聘し、生活や制作活動を支援するプログラムです。滞在中のアーティストへの支援は多岐にわたり、スタジオの提供、展示会やイベントの実施等が含まれることもあれば、研究や地域コミュニティとの交流に焦点が当てられることもあります。アーティストの日常生活が妨げられることなく、制作活動に集中することを可能にします。AIRプログラムの受入機関は、文化施設、大学、ギャラリー、コミュニティスペース、さらには個人宅など、様々です。成功したアーティストではなくても、応募することが可能です。

私は、2000年代初頭に修士課程を修了した後、アイルランド、スペイン、韓国、アイスランド、日本でいくつかのレジデンスに参加しました。いずれもユニークで充実した経験でした。レジデンスの期間は、住居型プログラムで2週間から4か月、非住居型スタジオ・レジデンスは6年にわたるものまで様々でした。

## AIRの探し方

AIRプログラムを知る方法はいくつかあります。恐らく最も簡単な方法は、オンライン・データベースや公募告知を通じて情報を得ることです。TransArtists は、世界中の1,500以上のAIRプログラムを網羅した包括的なデータベースを提供しています。Res Artis は、検証済みのAIRプログラムからなるネットワークです。また、地域ごとにAIR\_J (日本)、Berlin Art Link (ドイツ) のようなリソースも存在します。すべてのAIRプログラムが公募方式ではなく、中には管理者やキュレーターによってキュレーションされているものもありますが、これはデータベース上で明記されています。

オンラインリソースに加え、口コミはとても大切で、他の人がこれらのプログラムでどんな経験をしたかを知る素晴らしい手段です。日本でアートコミュニティやネットワークを構築する過程で、日本のギャラリーやスタジオとの提携や交換プログラムを通じて、海外のレジデンスに参加する機会が見つかるかもしれません。

## 選び抜く

AIRプログラムはさまざまな種類があります。最初の課題は、自分に合ったAIRを見つけることです。応募する前に、どんなサポートを受けることができるのかを確認することが重要です。一部のプログラムは宿泊施設のみを提供し、スタジオは提供しない場合もあります。逆も然りです。費用が発生するプログラムもあれば、アーティストに報酬を支払うプログラムもあります。追加サポートには (ない事もありますが)、航空券、食事、材料費、展示スペース、展示サポート、企画された文化活動、ネットワーキングサポート、技術サポート、翻訳サポート、カタログ出版などが含まれる場合もあります。一方、滞在中にアーティストに期待されることもあります。たとえば、講演、無報酬のワークショップ、地域活動への参加、公共アウトリーチプログラムへの参加、報告書の作成、オープンスタジオ訪問の可否、作品寄贈の要請、費用の支払いなどです。

## 十分な準備を

AIRプログラムの魅力の一つは、未知の領域に飛び込むことです。ただし、限られた時間の中で、機会を最大限に活かしたいのであれば、事前の準備が役立ちます。

一般的に、国際的なAIRプログラムでは、アーティスト間の共通言語は英語です。留学とは異なり、英語で授業やレポート提出の必要はありません。日常会話に慣れていて、自分の作品について英語で話せるならば十分です。ただし、一部のAIRプログラムでは講演やプレゼンテーションが必要なものもあります。また、実践活動として研究や地域コミュニティとの交流が必要な場合もあるため、滞在中に、あなたが求められている活動が出来るのかを自分で判断する必要があります。その他、特に数ヶ月以上滞在中の場合は、ビザの必要要件の確認や、保険加入などの実用的な準備も必要です。

## メリット

## ① 時間とスペース

大学での時間は特別なものです。まだ気づいていないかもしれませんが、時間が経つにつれて責任や気が散ること、様々な制約が増えていきます。AIRプログラムは、日常生活の忙しさから離れ、アート制作に専念できる時間と場所を確保することができます。

## ② コミュニティとプロフェッショナルネットワーク

AIRプログラムは多くのアーティストが参加することで、強いコミュニティを構築することが出来ます。さらに、異なる国や背景を持つアーティストやアートの専門家と出会うことが可能です。将来のために自分自身のグローバルネットワークを築ける可能性があります。

## ③ 文化交流

AIRプログラムは異文化に浸る素晴らしい方法です。また滞在中は、あなたは自国の大使になりえます。滞在中に多くの経験し学ぶことに加え、国際的なAIRプログラムは文化のつぼです。レジデント仲間から多くを学び、情報交換ができるでしょう。

## ④ クリエイティブなアウトプット

提供されるサポートによっては、通常では不可能な作品の創作を容易にします。たとえば、サイトスペシフィックな作品、専門の展示施設、大規模なインスタレーションのための資金を提供することもあります。

## 学生に対するアドバイス

AIRプログラムに応募を考えている学生に向けてのアドバイスは、今利用可能なリソースを最大限に活用することです。必要であれば追加で語学クラスを受講することや、本学で行われている国際的なプロジェクトへの参加、また海外から訪れる学生や教員との交流を大切にしましょう。その際の会話が将来どのように繋がるかは分からないものです。

## 様々な留学 4

## ワーキングホリデー 体験記

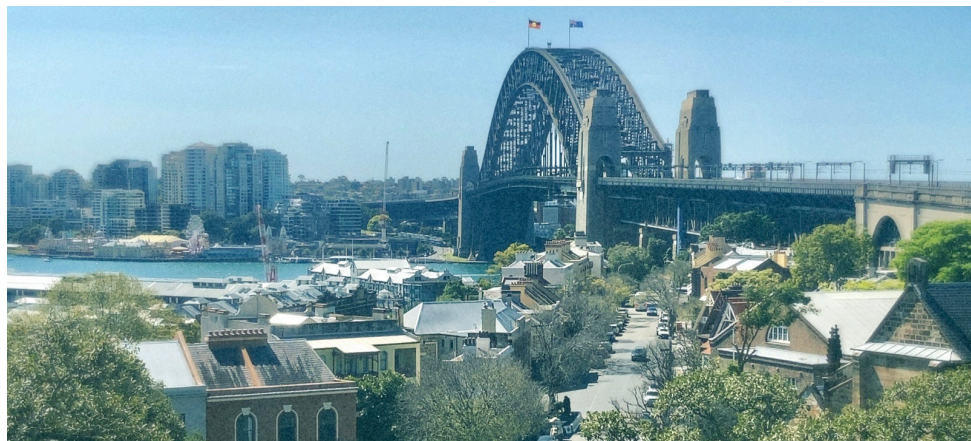
多くの人が「聞いたことはあるけど一体なんなんだ?」と頭にハテナが浮かぶと思います。現在ワーホリでオーストラリアに滞在中の佐々木さんに、その魅力をわかりやすく教えていただきました。



## 佐々木 太一

工芸学科 卒業  
ワーキングホリデー：オーストラリア

『働きながら海外を楽しめるワーホリ』  
の魅力に惹かれ、オーストラリアへ。



シドニーハーバーブリッジ

ワーキングホリデーの実現にも  
人それぞれの方法がある

2023年7月からオーストラリアにワーキングホリデーで来ています。多摩美術大学在学中には、国際交流プログラム「Pacific Rim」を通じてアメリカに留学したり、国際交流センターの主催するイベントに足を運んだりと海外にとにかく興味がある学生でした。大学3年生の終わり頃、卒業後の進路を考えていたときに、特にこれと言ってやりたいことがなく、悶々とする日々を送っていました。そんな時、「海外で働きながら様々な経験を積める制度」のようなものがあつたことを思い出し、調べていくうちにそれがワーキングホリデーだと気がきました。コロナ渦で長く海外に行けていなかったため、「行ってみたい」という気持ちが強まりました。ありがたいことに両親には反対されることもなく、やりたいことをや

ってきなさいと言ってくれたので早々に就活はやめて卒業制作にはげみました。その頃はまだどの国に行きたいか決まっていなかったのですが、英語の勉強のために使っていたHello Talkというアプリで、同い年のオーストラリア人に出会ったことがきっかけとなり、オーストラリア渡航を決意しました。誰も知らないところでゼロから生活を始めるより、友人がいる場所なら生活の基盤が築きやすいと考えました。入国してから早5ヶ月が過ぎ、私は現在ハミルトン島という離島のレストランでキッチンスタッフとして働いています。最初の2ヶ月は友人のいるシドニーで生活をし、様々な観光スポットを案内してもらったり、毎週末に各地で開かれているマーケットに足を運んでみたり、Language Exchange Meet Upに参加してみたりと、充実した日々を送っていました。その後、貯金が減り始めたため、エージェントを通して仕事をゲットし、ハミルトン島に引っ越しました。



ハミルトン島の景色

私は大学を卒業後に就職をせず、新卒卒を捨ててオーストラリアに来ており、数年はこちらに在る予定です。日本に完全帰国する頃には新卒卒から外れてしまっていて、日本での就職がどうなるか全く想像もつきません。もし、「日本での社会経験なしに海外に行くのは不安。大学が忙しくて貯金もない……でもいつか行ってみたい」と感じている人は、一度日本で就職してしっかりお金を貯めて、準備万端の状態挑戦することが良いと思います。

英語力に関しては、ある程度日常会話に困らないまでの力を身に付けてからワーキングホリデーに挑戦する方

が望ましいですが、オーストラリアに着いてから語学学校に行く人もたくさんいます。私の友人は、3ヶ月間セブの語学学校に行き、その後オーストラリアに入国していました。学費の安い語学学校を経由してワーキングホリデーに行くのもひとつの手です。ちなみに、ワーキングホリデーには年齢制限があるので注意が必要です。少しでも興味がある人は早めに行動することをオススメします。みなさんが充実したワーホリ生活を送れることを祈っています！（2024年3月時点の寄稿）

## オーストラリアでのワーキングホリデーについて

## ●ワーキングホリデービザについて

ファームジョブやホスピタリティ（カフェ/レストラン）など、政府が指定する地域で働くことで2nd/3rd ワーキングホリデービザの取得可能。2nd/3rd ワーキングホリデービザにより、1~2年間の滞在延長が可能。最大3年間のオーストラリア滞在が実現。

## ●労働条件

就労時間の制限はなく、時給は世界でもトップクラス。最低時給は\$23.23ドル（2023年時点）で、約2200円程度。土日や祝日は時給が1.25倍から最大2倍に増加。

## ●経済的なメリット

ワーホリ準備等で使ったお金を働いて取り戻すことが可能。給料日が毎週（月4回）あるため、安定した収入が期待できる。

## ●生活費と物価

家賃（週払い）や外食費は日本より高いが、シェアハウスやアジア系のスーパーを利用することでコストを抑えることができる。自炊をすることで生活費を節約し、滞在中に様々な経験を積む余裕がある。



## あの頃をふりかえって...

大学での国際交流経験と社会人生活



都築 明日香

油画専攻 卒業  
交換留学：中央美術学院

世界を多角的に見つめる視点を持つ  
ことがこれからの時代に必要になる。

## 今の仕事内容

現在、私は医療系の国立機関の事務として、国際的な研究の推進を目指す業務に携わっています。私が担当する業務は、主にHPの改修やSNS運用、セミナーの実施などの広報業務、海外機関から研修生を受け入れる教育プログラムのアレンジ、そのほか自施設からの海外訪問にかかる旅費の精算や予算管理などで、幅広く様々なことに挑戦できる環境にあります。現在は研究に特化した部署にいますが、当初は組織間の結びつきや協力を促す、国際交流を主たる業務とする部署に非常勤職員として働いていました。絵を描くことしかやってこなかった私に、当時の上司にあたる方が、一から仕事の基礎や英語の語学指導をしてくださり、現在の部署にご縁があって常勤職員として働くことができています。行政に関わるお仕事なので社会貢献の意味合いが強く、職場や業務にも国際色溢れる環境となっています。

## 美術との向き合い方

美術はやめたの?と思う方もいるかもしれませんが、美術はやめようと思ってやめられるものではないです。日々の暮らしの中に大学時代の学びはずっと根付くものですし、業務にも生かすことができます。私自身も時間がある時は絵を描く日もあります。大学時代の友人と継続した交友が続くのもとても大切です。私の周りにはみんな仕事をしていて作家をしている人はほとんどいませんが、集まると大学にいた時と同じ空気が流れて、友人でありながらも切磋琢磨してきた余韻はずっと消えないです。また、私は通信制の大学に入り直して、仕事をしながら文化

財保存に関わる学びを継続しており、美術が新たな興味へ導いてくれることもあります。

## 多摩美時代に国際交流を頑張った理由

別の大学にも通ってみたい!と素直に思ったことが一番大きな理由だったと思います。別の大学の学生は何を考えているのだろう、教授はどんな意見を言うのだろうと考える日が多くなり、環境を変える手段として交換留学を選びました。当時は今の環境でしか得られないもの、留学でしか得られないものがあるので、どちらが最適なのか悩んだこともありましたが、それを一押ししたのは中国に単身赴任をしていた父の存在です。人生を通して父が不在の中で生活をする時間が多かったことから、もっと話をしたいと感じていました。当時、多摩美術大学には中国の協定校がありましたが交換留学の実績はなく、国際交流センターの協力のもと、留学のために中国語の勉強と語学資格の取得を行い、大学担当者や連絡を取り合うことで交換留学を実現することができました。留学中はあまりスポットの当たらない中国の現代美術の最先端に触れることができ、中国国内美術大学の最高峰で美術に打ち込む仲間に出会うことができました。父とは月に一度会う時間で一緒に美味しいご飯を食べながらたくさん話をするのができて、作品にも良い影響を与えてくれたと感じています。

国際交流経験が社会人になってから  
どのように役に立っているか

まず、調整能力です。留学は書類作成、日程調整、メー

ル、様々な手配の嵐です。これらは社会人が仕事を行う上での基本的な能力になります。当時は必死だったので全く意識していませんでしたが、意識しながら行うときっと将来の進路に役に立ちます。和文と英文ではフォーマットの作り方やメールの作法が異なるので、作成が必要な際はぜひ調べながら作成してみてください。次に、臨機応変な対応力です。留学中は突発的に色々なことが起こります。私も実際に、留学中に突然家に警察が来たり、家の中に鍵を置いたままオートロックの家の扉を開けてしまい鍵屋を手配するなど、びっくりするような事態や失敗に陥ることがありました。そのような場面でも即座に様々な解決策とリスクについて考え、行動する力は生きていく上で重要な力です。また、語学力はあるに越したことはないです。仕事の幅も人生の幅も広がります。様々な国の人と意見を交わし、世界を多角的に見つめる視点を持つことは、これからの時代を生き抜く上で必要な能力だと思います。

## 今後の自分のキャリアについて

私はまだまだ社会人経験が浅く、毎日の業務に必死に向き合うことばかりですが、今後は指導できる立場になれるように、組織の仕組みや医療に関する知識を深

めていきたいと感じています。職場環境の特性上、非常勤職員の方に支えられている部分が多く、働いている方の業務負担の軽減や業務の簡易化を積極的に進めたいです。また、英語を使う機会が多い職場なので、語学面でも様々な業務を任せていただける場面が増えるように頑張っていきたいです。

## 多摩美生に対する

国際交流に関するアドバイスや応援

国際交流に踏み切れない大きな理由はやはり言語の壁だと思います。読めない、不安を感じる、最初のひと言が分からないなど、色んな悩みがあると思いますが、一歩を踏み込むとあっという間に40点が50点になり、60点になるとある程度の日常会話ができます。この海外の大学に絶対に行きたい!ここだけは絶対に失敗できない!という気持ちで、テキストだけでなく勉強したい言語の映画やバラエティなど色々なメディアに触れてみてください。言語が分かると本当に楽しいです。その楽しさで一気になれるようになります。言語は英語である必要はないです。一番興味のある言語で始めることが大切です。第二言語を習得すると第三言語、第四言語は感覚を掴んでいるので習得のハードルが下がります。応援しています!



北京留学中・大学のエンタランス前にて



2024年・イギリス 大英博物館にて



# 国際交流センター

名前は聞けど、実際どんな場所か知っている人は意外と少ない国際交流センター。  
ここでできるのは留学相談だけではなく、どんなことができるのか、紹介していきます。



## 交流センターはこんなところ！

国際交流センターでは「なんとなく留学に興味がある」という学生に対し、なぜ海外で学びたいと思うのか、志望理由から一緒に考えます。また、留学用ビザの取得や在留カードの更新といった事務的な相談に加え、留学関連の奨学金の紹介、語学学習の支援などを学生目線でサポート。また、ときには留学や語学に限らず学生生活の相談にのることもあります。

誰でもウェルカム！  
スマホの充電だけでもOKです！

**摩庭 啓人**  
国際交流センター



## 留学カウンセリング

国際交流センターでは留学希望者に対して個別のカウンセリングを実施し、各学生の目的、予算、キャリアプランなどに合わせた提案やアドバイスを行っています。「留学ってなんだかカッコイイ」「将来的には海外で暮らしてみたい」となんとなく考えている人も、国際交流センター職員と話すことで、漠然としたものがカタチになっていくはずです。対面のカウンセリングだけでなく、電話、メール、Zoomでも対応可能です。



## 最新留学情報をチェック！！

入口すぐの掲示では語学検定の検定料補助制度、学内外の国際交流イベント、留学説明会などの情報を掲載。受付横の棚には語学学習用の教材や『TIMES』などの英語雑誌が並び、貸出しを行っています。さらに学内の留学経験者による留学体験記とポートフォリオは誰でも閲覧可能で、ここでは紹介しきれない、よりリアルな情報に触れることができます。資料は上野毛のリベラルアーツセンターでも貸し出しています。

## 多摩美生のサードプレイスに



国際交流センターでは、留学・語学関係の相談に対して手厚くサポートしていて、学生一人ひとりの性質や考え方、語学レベルに合わせた丁寧な対応を心がけています。一方で、留学や語学学習に興味のない学生もふらっと立ち寄り、授業や学生生活のことを気軽に話せるような場所にしたいとも思っています。目指すのは、家でも教室でもない「多摩美生のサードプレイス」。オープンな空気でお迎えしていますので、ぜひ、一度のぞいてみてください。英語力ゼロでもウェルカムです！

# 国際交流センターの 語学サポート・イベント

## 国際交流センタースタッフによる語学学習サポート



鍋島 柚葉 油画専攻 卒業

コーチングを利用して英語の  
苦手意識がなくなりました。  
将来は学芸員になって、英語  
力を発揮したいです！

国際交流センターが実施するコーチングでは、担当職員が学生一人ひとりの目的や語学力に合わせて学習計画を立て、語学を教えています。留学を目指す学生はもちろん、外国語を使う仕事に就きたい、外国の画集を読みたいなど目的はさまざま。週に1度や2～3週間に1度など、各学生のペースに合わせてスケジュールを組みます。

授業との違いは、基本的に1対1の指導であること。勉強の仕方がわからない学生には、まず単語を覚えるコツから指導が始まることも。もちろん、英語論文執筆など、ハイレベルな英語習得に挑戦したい学生も大歓迎。職員が熱意を持って指導してくれます。

## 学生同士のスピーキング練習

国際交流センターでは、各種相談を受けた学生の性格、興味関心、目標などのヒアリングを行っています。そして希望者に対しては、相性が良さそうな学生を紹介し、英会話練習相手のマッチングサポートを行います。



写真左：井上朱梨（環デ） 写真右：田中歌乃（油画）

### 学生からのコメント

**井上：**英語力向上を目的としたスピーキング練習相手を探していましたが、田中さんの存在はそれ以上のものとなりました。信頼できる友人ができたことが本当に嬉しいです。だからこそ、英会話練習も継続することができています。

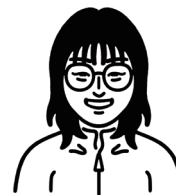
**田中：**国際交流センターを通じて仲良くなった井上先輩と、週に2～3回英会話練習をしています。毎回楽しく英語を話すことができます。ここには沢山の学生が集まるので、相性ピッタリの勉強仲間が見つかると思います。

## 国際交流パーティー



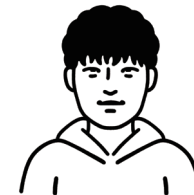
国際交流センターは、留学生と親睦を深めるためのパーティーを年2回開催しています。語学コーチング、スピーキング練習、留学の相談などで日頃から国際交流センターを活用している学生有志によって運営されています。八王子と上野毛の両キャンパスから100名を超える学生が参加し、軽食を取りながらゲームなどを楽しみます。

## 国際交流パーティー幹事たちからのひとこと



田中 歌乃  
油画専攻

昨年から参加者としても幹事としてもパーティーに参加しました。私が思うに、大学内で他学科・他学年・留学生と交流できる場はまさにこのパーティーだと思います（もちろん国際交流センターもですけどね）。私はこの2年間、パーティーで沢山の方と交流ができ、有難いことに、そこで知り合った学生や職員さんとは今でも仲が続いています。だから、色々な人とお話がしたい！という方にはピッタリなイベントです！パーティーの幹事としては仕事の大変さを感じましたが、そこでしか味わえない楽しさも感じました。ですので、未来の幹事の方は参加者に負けなぐらい楽しんでください！以上！それでは皆さん次回のパーティーでお会いしましょう！



大塚 楽人  
メディア芸術コース

国際交流パーティーは僕にとってめちゃくちゃ新鮮な体験でした。まず周りで話されている言語が英語だったことが初めての体験でした。英語に自信がなかった僕は、最初こそ不安でしたが実際に会話をしてみると思ったよりカタコトでも伝わりました。それになにより、留学生たちと話すのはすごく楽しかったです。アニメや音楽など共通の話題があったことも意外な発見で、なんなら僕よりも日本のアニメに詳しくて驚きました。今これを読んでるあなたにもぜひ参加して体感してもらいたいです。それと僕たちは普段、国際交流センターでスピーキングの練習をしています。今までの学校の授業とは違って楽しく英語を学べますし、国際交流パーティーの企画などいろんなイベントも主催してます。多分ここでしかできないことなのでぜひ遊びに来てください。

対談

# MANIWA's ROOM

## マニワさんの部屋



MANIWA'S ROOM は、国際交流センター職員の摩庭さんが、センターを利用している学生に留学準備で大変だったことやセンターの使い方について聞くインタビュー形式の対談。お相手は日本画 4 年（当時）の黄地さんです。どんな話が聞けるのでしょうか。（2024年1月時点でのインタビュー）



黄地 香の子さん

日本画専攻 4 年生（当時）。在学中にタイのシラバコン大学への交換留学を経験した国際交流センターのヘビーユーザー。職員さんたちともかなり仲が良い。



摩庭さん

国際交流センターの職員さんで交換留学担当。軽めのノリと熱めの情熱で学生たちの留学をサポートしてくれる。多摩美の留学相談窓口といったらこの人。

### 国際交流センターは いろんな言語が聞こえてくるコミュニティ

**摩庭** 最初に国際交流センターに来てくれたのは、黄地さんが 1 年生の終わりの頃だったかな。それとも、2 年生の最初の頃だった？

**黄地** 最初に摩庭さんを見したのは 2 年前期の交換留学説明会でした。今でも覚えています。留学制度の説明をする際の MC がすごく上手だったので、「ピーターパンみたいな人がいるな」と感じたのが摩庭さんのファーストインプレッションです。

**摩庭** 俺はトークで生きているから（笑）。一応、交換留学はもちろんだけど、海外に行きたいという気持ちがあった上で説明会に来てくれたの？

**黄地** そうですね。

**摩庭** 最終的には、タイのシラバコン大学に交換留学したけど、記憶が正しければ、最初に留学を検討していた大学は、英語も使うことができるヨーロッパの大学だったよね。オランダのヘリット・リートフェルト・アカデミーだったかな。そのあと、すごく悩んでタイの大学に切り替えたけど、どうして気持ちが変わったの？

**黄地** 最初は英語を学ぶという目的が強かったことにくわえて、ヘリット・リートフェルト（家具デザイナー）自身にも興味があったので、彼が作った大学に行ってみたいという気持ちがありました。ですが、それと同時に、自分の小さい頃の記憶とか、ルーツみたいなものを辿ったときに、やっぱりアジアの雰囲気が大好きだったことと、当時ちょうど自分の制作活動の中に、仏教信仰が組み込まれ始めていて、最後に土壇場でタイに行くことを決めました。

**摩庭** たしかに、当時描いていた作品はアジアンティストだったよね。タイの大学を選択して正解だったと思うよ！！

ちなみに、留学のための語学学習にはどれくらい時間をかけていたの？

**黄地** IELTS の対策を始めたのは、交換留学に応募する前でした。具体的には、3~4 か月くらいで対策をして試験を受けました。

**摩庭** それであのスコアを取れたのはすごいよ！！

**黄地** ハゲるほど勉強しました（笑）。

**摩庭** 国際交流センターは本部棟にあって、学生がちよっと立ち寄りにくい場所にあると思うんだけど、実際のところ学生から見て国際交流センターってどんな雰囲気なの？

**黄地** 雰囲気はともオープン！！ドアがいつも開いているっていうのもあるんですけど。あと、大きなガラス張りの部屋なので、外からも中の様子が見えるのは、他の部署とは違うのかと思います。入りにくいことはないと思います。あとは、職員のみなさんがフランクですね。

**摩庭** それならよかった。職員室みたいな雰囲気じゃないかと心配される学生さんもいるんだけど、そんなことはないよね。

**黄地** そんなことないです。オープンすぎますね（笑）。

**摩庭** 学生たちと話す、こっちは楽しくて時間を忘れちゃう。本当にいろんな学生が来てくれるからね。それこそ、黄地さんみたいにね。

**黄地** ひとつのコミュニティみたいになってますよね。国際交流の発信地というか、中心地みたいな感じに。ここに来ると、フランス語を勉強している学生がブツブツとフランス語を喋っていたり、英会話練習をしている学生がいたり、摩庭さんが語学コーチングをしていたり、いろんな言語が聞こえてくる場所があるというのは美大だとすごく珍しいんじゃないかと思いますね。

**摩庭** ちょっとでもそんな空間を学生たちに提供できていたようで良かった。いい意味で、たまり場のような、学生同士がコミュニケーションを取ることができる場所になってくれていて、すごく嬉しい。

職員の皆さんが『主体性を持ち続けられるように』バックアップしてくれた

**摩庭** これから留学を目指す学生たちが、国際交流センターでどんなサポートを受けられるのか、という話を学生目線から教えてくれる？

**黄地** まず、交換留学に応募するまでのサポートをたくさんいただきました。特に、ポートフォリオの作成に関するサポートですね。英語ネイティブに作品キャプションの校正してもらえたのは嬉しかったです。あと、協定校を選ぶ上で、多くのアドバイスをいただいた記憶もあります。やっぱり、最終的には留学するのは学生自身ですし、「最後は自分で留学先を決めることができた」と今思っているのは、国際交流センター職員のみなさんが良い感じで背中を押しながら、応援して導いてくださったからだと思っています。

**摩庭** いいこと言ってくれるじゃん（笑）！！

**黄地** 職員のみなさんが、私が主体性を持ち続けられるようにいつもバックアップしてくださって、国際交流センターに行くも摩庭さんがいつもポジティブな言葉をかけてくださるんですよ。「ちょっと IELTS 不安です」とかポロっと漏らしても「そんなわけないでしょ！！いけるよ！！」みたいな。いつもこうお尻を叩いて、テンション上げてくれるみたいな。遊びに来るだけで支えられてました。

**摩庭** ホントに？ そんないいこと言ってもらったらさ、調子に乗っちゃうからね！！マジで（笑）！！



## 国際交流センター長からひとこと



国際交流センター長  
メディア芸術コース教授

## 久保田 晃弘

留学の意義のひとつは、マイノリティを体験することだと思います。慣れ親しんだものに囲まれた、日常生活では見えなかったさまざまなものが、海外という別の場所を通じて、新たな意味と共に立ち上がってきます。それは、自身の創作活動やこれからの進路に対しても、大きな問いかけになるに違いありません。留学に行こうかどうか迷ったら、ぜひ挑戦を！

## 国際交流センター所属教職員



## ムーニー・スザンヌ

大学院研究科 准教授  
UEA  
(University Education Administrator  
for Global Engagement)  
言語：英語（木曜在室）



## 石川 翼

国際交流センター課長  
言語：英語



## 本 真澄

専任職員  
言語：英語



## 摩庭 啓人

専任職員  
言語：英語



## 吉田 玉青

専任職員  
言語：英語



## 牧 祥子

専任職員  
言語：中国語・韓国語



## 栗山 小百合

パート職員

## 各学科 国際交流センター運営委員

日本画 — 陳芴宇 講師  
油画 — 村瀬恭子 教授  
版画 — 古谷博子 教授  
彫刻 — 笠原恵実子 教授  
工芸 — 行武治美 教授

グラフィック — 佐賀一郎 准教授  
プロダクト — 濱田芳治 教授  
テキスタイル — 川井由夏 教授  
建築・環境 — 田嶋豊 准教授  
情報 — 港千尋 教授

芸術学 — 大島徹也 教授  
統合 — 佐々木千穂 教授  
演劇舞踊 — 加納豊美 教授  
リベラルアーツセンター — 外館和子 教授  
大学院 — 松浦弘明 教授

(2025年3月時点)

## 国際交流センター お役立ち情報

## 八王子キャンパス窓口

八王子キャンパス 本部棟 2階

開室時間：月～土 9:00～17:30（休暇期間中を除く）

E-mail: intl-ex@tamabi.ac.jp Tel: 042-679-5605

相談予約フォーム



語学の勉強方法や外国人の友人を作りたい等、些細なことでも、国際交流に関することなら気軽に相談してください。ご希望の方は、相談フォームよりお申し込みください。上野毛キャンパスの学生は、オンラインで相談に乗ることもできます。

## 上野毛キャンパス国際交流コーナー

上野毛キャンパス 2号館 3階

リベラルアーツセンター事務室前

- 本の貸し出し
- 資料閲覧
- 資料の無料配布

## 交換留学生のサポーター募集！

国際交流センターでは海外協定校から来る交換留学生のサポートをしてくれる学生を随時募集しています。

- 住民登録の手続きをサポート
- 学内で困っていることをサポート
- 部活に参加したい留学生をサポート etc.

## SNS・Web サイト

X (旧Twitter)



Instagram



Web



ブログ



# 渡航に向けての準備

## 危機管理

海外に渡航・滞在する際には、安全について日本国内で生活している時とは異なる心構えが必要です。特にテロ、麻薬犯罪等には十分注意してください。また、海外では、日本ではなじみのない感染症が流行している場合があります。海外へ渡航する際には、出発前に渡航先の情勢を十分に認識し、誘拐、脅迫、テロ等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、外務省が発出する渡航情報、関連情報ホームページ及び報道等により、最新の関連情報を入手してください。

## 渡航先の情報収集

留学する国や地域の情報を事前に把握しておくことは重要です。外務省のホームページを確認してください。渡航前に「たびレジ」(3ヶ月未満)や「在留届」(3ヶ月以上)の登録も忘れずに行ってください。現地で事件・事故に巻き込まれた場合に連絡できるよう、渡航先の在外公館の連絡先を確認してください。



## パスポートの取得

海外渡航をするとき、必ず用意しなければならないもの、それが「パスポート(日本国旅券)」です。パスポートの申請は基本的に、住んでいる都道府県の窓口で行っています。申請してから発行まで都道府県によって異なりますが、概ね1~2週間程度です。戸籍抄本など必要な書類を用意するのに時間がかかることがありますので、早めに申請の準備をしてください。



## ビザの取得

渡航先によってビザの要否・種類が異なります。ビザ申請に関する要件や書類手続き方法は頻繁に変更されます。渡航先の大使館のホームページにはビザ申請だけでなく渡航に関する情報が多く掲載されていますのでよく確認してください。

## クレジットカードと銀行口座

海外では多くの現金を持ち歩くのは危険です。ホテル等の予約の際にも必要になりますので渡航前に必ずクレジットカードを取得してください。また、交換留学や中長期の私費留学の際には現地の銀行口座を開設する必要も場合によってはあります。

## 海外旅行保険の加入

海外で急な病気になったり、事故などで怪我をした場合、渡航先によっては多額の治療費がかかります。日本国内のように健康保険を利用して治療を受けることはできません。個人で渡航する場合にも海外旅行保険は必ず加入しましょう。大学のプログラムで渡航する場合は大学の指定する保険に加入していただきます。通常の保険会社で加入するよりも割安となっています。

## 日本アイラックによる安心サポート

本学の留学制度を利用した渡航においては、外部危機管理会社のサポートを受けられます。

専用スマートフォンアプリを使った安否確認や24時間年中無休の緊急受付、事故・病気等の相談窓口、有事の際の在外公館や保険会社等と協力し対応する体制を整備しています。

# 安全対策リンク集

## 外務省「海外安全ホームページ」

日本政府が収集した世界各国の情報を確認できます。各地域の危険度を色分けした危険情報を確認し、渡航先がどのレベルか必ず確認しましょう。



## 外務省「海外安全劇場」

海外で巻き込まれる犯罪手法を再現したビデオは必見です。



## OTOA 都市別安全情報 (社)日本海外ツアーオペレーター協会

国・都市の一般情報や安全情報が確認できます。



## 外務省「オンライン在留届」

海外に3ヶ月以上滞在の方は登録が義務付けられています。緊急事態発生時には、大使館・総領事館がこの情報を基に安否確認や支援活動を行います。



## 外務省「たびレジ」※3ヶ月未満の方対象

登録したメールアドレスに在外公館から現地の最新の安全情報が配信されます。



## 在外公館リスト

留学先の最寄りの日本大使館・領事館の場所や連絡先を事前に確認しておきましょう。



# 留学をサポートする奨学金

奨学金には独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)から支給されるもの、民間の財団から支給されるもの、多摩美から支給されるものなど、さまざまな種類があります。奨学金を利用する場合は、募集が年に1回しかないものが多い上、応募期間も限定されているので、早くから情報を集めることが大切です。

## 日本学生支援機構(JASSO)・ 地方自治体・民間団体の奨学金

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)・地方自治体・民間団体の奨学金(給付型・貸与型)については、「海外留学奨学金パンフレット」からご覧ください。日本国内で募集されるものと現地で募集されるものがあります。



### 奨学金を得るための準備

1. よい成績を収める(高いGPAが求められる)
2. 語学、学力、資格試験を受験する(必要なスコアを準備する)
3. 研究活動を形にする(ポートフォリオや論文など)

## 多摩美術大学 交換留学生奨学金

対象: 交換留学  
人数: 20名程度  
支給額: 20万円(給付)

## 多摩美 TRY 奨学金

対象: 多摩美TRY(メルボルン)  
人数: 20名  
支給額: 10万円(給付)

# 留学 FAQ

## Q 留学の費用はどれくらいですか？

**A** 渡航先の国によって大きく変わります。たとえば、英語圏をはじめとする先進国の物価は高い傾向にあるため、必然的に留学費用が高くなります。交換留学（3～6ヶ月）では、40万円から80万円の留学費用、Pacific Rimでは、ジャパンステージで20万円（フィールドトリップ代のみ）・アメリカステージで100万円程が発生するとお考えください。

## Q 語学力アップのためのサポートはありますか？

**A** 国際交流センターでは、簡単な語学学習のアドバイスをしています。また、Talking About Designという英語学習に使える冊子も配布しています。芸術に関連する内容で英語学習をすることができるので、非常に有用です。くわえて、多摩美は国際的な環境です。語学学習と一緒にできる仲間を探すことはもちろん、留学生と友達になり、お互いの言語を教え合うこともできます。語学を修得するための環境は整っていますので、制作や研究はもちろんですが、多摩美で語学学習も頑張ってみてください。

## Q 英語圏以外の交換留学に興味があります。ただ、現地語ができません。

**A** 現地語を使いこなせることが望ましいですが、今のところ、一部の学校を除き、英語力があれば交換留学に挑戦することができます。また、もし現地語ができたとしても、交換留学応募時には、英語力のスコアを提出する必要があります。

## Q 交換留学とPacific Rimの両方に興味があります。両方参加することは可能ですか？

**A** 交換留学は個人での留学、Pacific Rimはグループでの留学となり、プログラムごとに異なる面白みがあります。所属学科、単位取得状況、Pacific Rimの開催地などの条件に合えば、両プログラムに参加する事も可能です。まずは、国際交流センターへご相談ください。

## Q 多摩美内で国際交流系のイベントはありますか？

**A** 多摩美では、前期と後期に1回ずつ、年に2回の国際交流パーティが行われます。日本人学生も正規留学生も交換留学生も、希望者は全員が参加できます。こういったイベントを通し、たくさんの友人を作りましょう。



[発行日] 2025/4/1

[発行] 多摩美術大学 学生部 国際交流センター

[編集/デザイン/イラスト] 倉本大豪

無断転載・複写を禁じます。 Printed in Japan ©2025 Tama Art University



